京城日報
五月四日夕刊
（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 一部金五錢▲一ヶ月金［illegible］
廣告料金 ［illegible］
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

法王講和再提議
五月十九日發表＝伯林の歡迎

ケルン發公報新聞の報ずる處に據れば羅馬法王は聖靈降誕祭當日（五月十九日）を以て新たに講和の提議を發表する筈なり今回の提議は前回の提議よりも一層切なる性質のものにて法王が多分中立國元首と協同して具體的調停を爲せるものなりと此報道は伯林にて好感情を以て迎へられたり（ヘーグ電報）

墺國皇帝大本營行

ツーリッヒ來電＝墺太利皇帝及び墺國外相ブーリアン男は獨帝と協議の爲め獨軍大本營に赴くべく右は小露西亞及び巴爾幹の將來に關する協議なりと信ぜらる（紐育電報）

米新造船廿四萬噸

米國營船局の發表する所によれば四月中米國にて竣工したる新造船は二十四萬噸なりと（華盛頓電報）

獨探處刑宣告

ボップ及びフオンシャックは各懲役二箇年罰金一萬弗に科すとの宣告を受け、又駐米前獨逸大使館附武官ブリンケンは懲役二箇年の宣告を受けたり（華盛頓電報）

セ軍オロウランナヤ驛占領

セミヨノフ軍は更にオロウランナヤ驛を占領したるが是れにて滿洲里チタ間日本里數約九十里の中五十餘里は既にセミヨノフ軍の手に歸せる譯なり（哈爾賓電報）

暗號電報取扱中止抗議

英佛伊日本領事は西伯利勞兵會側が杉野副領事が日本に向け發信する暗號電報の取扱を中止したるに就き抗議を提出したるも勞農政府は是れを聽き容れずと（哈爾賓電報）

北軍南雄占領

北軍は完全に南雄を占領せり（北京電報）

重要案件協定成立

我政府と某國との間に或る重要案件協定成立し近く之れが調印を了し其の一部分發表さる可し（東京電報）

英國使節來朝期
元帥號徽章捧呈の爲め

英國皇室より畏くも我 天皇陛下に御贈進相成りたる同國元帥號の表章たる徽章を捧呈の爲めアーサー・オブ・コンノート殿下御差遣の旨發表されたり同殿下英國御出發は五月下旬なる可く六月下旬御來朝の事となる可しと（東京特電）

ホ將軍歐洲行

日本に赴く可しとの說ありしホルワット東清鐵道長官は四日發歐洲に向ひたるが長官の歐洲行と共に當地方の局面に重大なる變化を來すべく觀測さる（哈爾賓電報）

林公使南遊

林公使は三日午前九時二十分發列車にて島津書記官を隨へ漢口に向け南遊の途に上れり（北京特電）

寺內首相伏奏

寺內首相は四日宮中に參內內外の政務につき委曲伏奏する所ありたり（東京電報）

取引所解合成立

東京米穀取引所は五月限の解合三日成立せり其價格は立會停止當日より二十錢安の二十六圓四十六錢なるが右に就き成瀨理事は其旨を農商務省へ報告し三日午後三時農商務當局を訪ひ其認可を申請せり（東京特電）

諸名士通過

四日朝市川亞參謀長、岡本十九師團參謀長、近藤平壤兵器廠長、勅使河原法院長、中村檢事長、電氣化學工業會社太田黑重五郎氏著釜直に十時半發列車にて北行せるが太田黑氏は滿鐵と共同の撫順に於ける窒和肥料工場視察其他滿洲工業視察の爲めなりと（釜山特電）

寺內首相病狀

寺內首相の病狀に關しては種々傳唱さるゝも已に全快來週よりは出勤の筈にて『今回の病中見舞狀を寄せられ又は心配せられたる諸氏へ此旨御傳へを請ふ』旨荻田局長兒玉翰長より來信あり

戰時米國の鑛業
盛なるは戰爭鑛物＝日本の制度との差異

總督府技師 川崎繁太郎氏談

鑛業視察の爲め昨年五月下旬、米國、濠洲等へ出張を命ぜられたる總督府鑛務課技師川崎繁太郎氏は二十二日濠洲より長崎著直ちに東上し四日京城へ歸任したるが氏は『吾輩は見聞の總てを雜然と頭へ詰め込んで居るから、一度整理した上でなければ秩序だつたお話は出來ないよ』と打笑ひつゝ語る

何よりも先づ吹聽したいことは、英米兩國民の旅人に對して親切であることだ、之れはお互に永く記憶して居たい、習慣は桑港から加奈陀に廻はり、紐育に出て南部諸州を視察し、再び桑港に還つて濠洲に渡り

▲約一年の間 經巡つて來たが曾て一度も不快なる待遇を與へられたことは無い、初めて外國の地を踏む一人旅にして、思ふまゝに視察調査を遂げることが出來たのは全く英米人の親切のお蔭である、鑛山に關係ある官署、會社等で吾輩の爲めに次から次へ路順好く日程を拵へて與れた、排日など云ふ氣振も無い、餘り褒立てると英米の提灯を持つと思はれてはならぬから是位にして措いて、各地の見聞を述べよう、一言に謂へば戰爭の爲めに鑛業界で困つて居るのは

▲勞働者の不足 だ、就中加奈陀の如きは、原來人口の稀薄な國柄であるから大に弱つて居る樣だ、殊に同國の鑛山は金鑛が多い、所謂戰爭鑛物が少いから平時よりは幾分寂れて居るだらうと思つた、米國は何と云つても大きい、鐵、亞鉛、タングステン、水鉛、耐火粘土、黑鉛、ニッケル其の他合せて十五六種の戰爭鑛物が盛んに採掘されて居る、鐵亞鉛等は別としてタングステン、水鉛等は勞銀の高い、金儲けの多い米國人の餘り注意しなかつたものだが、今は却々盛んに採掘される、大きいと云へば濠洲では延長十五哩に亙る鉛鑛を見た、鑛業に關する制度は各國共に

▲大差は無い 樣だ、日本のも決して劣つては居ない、併しながら八時間勞働の嚴守されつゝあることや、鑛業警察の設けある等は、日本に比し整つて居ると云へよう、日本と異つて居るのは、米國では土地の所有權は地下に藏する鑛物に及ぼされることだ、米國の如き新らしい國では、土地の所有權を設定する時は、地下に鑛物あらば之をも取得するの意思を有つて居るからだといふのだ、夫れから鑛區は一つの鑛脈を幾つにも分けるので無く、一つの鑛脈の全部が一鑛區と成るのだ、鑛山

▲採掘の方法は 日本は未だ幼稚であると見做されて居るが米國では勞銀が高いので機械力を多く使用するといふに外ならない彼國の當業者は日本の勞銀が安いことを羨むで居る。

琿春視察團總督訪問

入京中の琿春視察團一行二十五名は團長黃內吉氏引率の下に四日午前九時半總督府を訪問したるが長谷川總督は一行を第一會議室に引見し『諸君は久しく琿春方面に移住し各自其の業に親まる勞を多とす且つ此度朝鮮視察に來られたるは本總督の非常に滿足とする處なり然るに朝鮮も施政後未だ日淺く爲に十分なる成績を擧げ得ざるは遺憾とする處なるも併し乍ら鮮人の安寧幸福を增進せんとするが爲には政府に於ても非常なる努力を盡し居る處なるを以て諸君は其意を諒とせられ此機會を利用し十分に地方の狀況を視察し歸鄕の上は琿春方面には種々なる誤解あるやに聞くを以て此の誤解を一掃する樣に努められんことを希望する』旨を述べたるに對し黃團長は一行を代表して答辭を陳べ府內參觀の上退出したり

支那に於ける日本の勢力
平南价川鐵山の鑛石と製鐵所問題

三井合名會社理事 有賀長文氏談

三日朝入京せし三井合名會社理事有賀長文氏を車中に訪ひその談を聞く

▲多年の宿望 支那本土南北滿洲並に朝鮮の視察は予にとりて年來の宿望であつたがどうも職務の都合上東京を永らく離れる事が可能なかつた、然るに今回三井合名會社の職制などの改革があつて物產より福井菊三郎君、銀行から早川千吉郎君が入社の理事として四人になつたので、漸く小閑を得一巡飛脚的の旅行を東亞の大陸に試みてゐる譯です、秋になつたら團琢磨君も視察にやつて來る筈だ

▲帝國勢力の活動 支那滿洲朝鮮は余にとり前述の如く全く初見の土地であるから見るもの聞くもの悉く珍らしからざるはない、よい學問をしたと思つてゐる、朝鮮はまだ新義州のパルプ工場と价川鐵山を見た許りで殆んど語るべき感想もないが、支那本土と南北滿洲を視察して引括めてどんな感じを抱いてゐるかと問はれば實に愉快であると申すのが適當と思ふ、何故と曰ふに支那本土並に滿洲の利源開拓に向つて日本の資本と勢力は非常の勢ひで活動してゐるからだ、此の日本資力の支那活動は吾國の放資者も素よりその放資に相當するだけの收益は得てゐるのであるが支那の埋藏された富の開發に貢獻した力は實に偉大と云つてよい、例へば從來支那の地方產物に過ぎなかつた大豆の如き現今では世界の市場に其の販路を見出してゐる如きその一例で、これは全く日本のお蔭でないか、唯日本の資力がそれ程支那の財的膨脹に盡力してゐるのに支那の官民は果して正當な感謝の念を持してゐるか怎うかと云ふことは疑問である、支那は極端に曰ふと經濟的に日本の侵略でも受けてゐるかの樣にとつてゐるものもなきに非らずらしい、尤も近來の支那人は餘程覺醒して來た樣だからいつまでもそんな誤まつた思想に捉へられてもゐまいが、日支の經濟的融合を妨げるのは左樣な誤解に基づく事も多い、かゝる點は日支有識者の心すべき事であらう

▲鐵道敷設急務 支那本土及び南北滿洲は地域廣大尙ほ開發を待ちつゝある富源は無限である之れを日本內地のセセコマしいのに比するとその［illegible］が非常に目立つ、［illegible］日は寧ろ兎に角各方面に於ける資本の消化力は無限と云つて差支へない、其れに最も必要なのは鐵道敷設である、鐵道借款は各國に利害關係を有つ事多く其の成立却々困難だが日米が共同の上運河改修に放資した如き形式により大規模の支那鐵道借款を引受ける樣に相當方法を講じたら如何なものかとも思ふ、ハルビンには滯在一日で各方面を視察したが支那町たる傅家甸の活發展は注目に値するものがある、而して傅家甸の殷賑に比し外國人街は頗る寂寥を極めてゐる、又市中は何等不穩等の事はないやうであつた更に哈爾賓長春間の東淸鐵道は今少し何等かの方法により日本の鐵道に近接した設備と取扱ひを日本乘客が受け得るやうな方法を講ずる必要はないかとも思はれる

▲製鐵所計畫 平安南道の价川鐵山は從來三井鑛業の一部であつたが最近三井系統の事業として企畫された室蘭北海道製鐵會社の經營に移してゐる、目下の所では价川の鑛石を北海道製鋼會社の原鑛の一部として送る事となつてゐるが、予は今回仔細に价川鐵山を視察した結果、鑛量は豐富なものであるし又段々含鐵量なども多くなると云ふ事だから或は將來製鐵の一工場を朝鮮に設けたら如何かと考へられた、コレは製鐵原料たる石炭や石灰石や用水や又勞力などの點から利害關係を精査せねば輕々しく斷ぜられぬ事だが肝腎な良質の鐵鑛が無限である以上そこに製鐵經營の可能を思はしむるものがある。兎に角研究問題だ。

▲朝鮮の植林 黃海道の谷［illegible］郡を中心とする三井の植林も七日に行つて視察して來る。朝鮮の植林は予等も頗る興味を有つてゐる事業である。何でも會社では約八萬町歩ばかりの國有山野を造林用として當局に貸附を出願したが二萬町歩內外しか許可を經てゐないやうだ。今後も出來るだけ經營を持續する筈だ

櫻花の日本を訪うて
支那記者團歸還

歸國の途に在る支那報界赴日團一行十八名は三日夜京城通過北行した、季は春、花の日本を訪ひ、手厚き待遇を受けた一行は

▼非常に滿足 し、繰返して日本朝野の好意を感謝し、日本の自然を稱へて居た、團長汪立元氏は『此行到る處御歡待を蒙り、誠に感謝に堪へません、政界、實業界の諸名士に面會して高教を仰ぐことも出來ました、短時日の間ながら貴國の文物進步の狀をも見ました、殊に工業の發達著しいことには驚嘆の外ありませんでした、歸國の上は、貴國人の隣國に寄せらるゝ同情と、產業發達の顯著なることを弊國の上下に周知せしめたいと考へて居ります、本夕京城を通過歸國するに當り、貴紙を通じて往路我等一行に對する

▼御高配を謝 します。同時に思出すのは南山に登臨して市中を展望した風景です、實に好い景色ですね、又日本名所の眺めは格別です、私の鄕里浙江は形勝を以て著れた處ですが、日本の風景は一入です、雨中の宮島の景趣などは得も言へませんね』と、［illegible］

▲苑も國賓の待遇 長谷川賢氏談

一行の案內役たる在北京共同通信社長谷川賢氏は語る『一行の歡待方は非常でした、國賓とも云ふべき待遇を受けて、一同頗る滿足して居る、東京の宿所はステイション・ホテルであつたが、先客を追立てゝまでも一行の爲めに室を宛がふといふ有樣、之れで先づ

▼好印象を與 へる、寺內首相、後藤外相、大隈侯などを訪ふと、孰れも腹藏無き意見を述べて好感を與へる、衆議院、政友會、憲政會等の歡迎會では在野政客の巨頭が出席し膝を交へて歡談するといふ風であつて、十分に日本朝野の對支意見なり感情なりを知る事が出來たので大に喜むで居る、想ふに一行の對日感情も往路と歸路とでは大分變つて居るではあるまいか、大隈侯と會見の際、侯は「日支親善など今更のことぢやない、日本人の血管を通ふ血も支那人のそれも同じものぢや、血は水よりも濃といふぢやないか

▼兄弟仲の好 いのは當然ぢや、支那は四千年の古い歷史を有する國で、日本の維新の大業も支那の先哲が義を見て爲さゞるは勇無きなりと敎へて居る、其心を體現したものである、支那の進步遲々たるは要するに諸君の努力が足らないからである」と、懇に說き「若し諸君が日本に對して要むる處があるならば遠慮無く申込むが宜しい、吾輩は出來得る限りの盡力を厭ふものでない」と、［illegible］せたもんだ、一行の最も深く感じたのは工業の發達せることで

▼到底支那の 追隨し能ふ處で無いと云つて居る』因に一行は奉天より大連に赴き視察の上六日同地出發奉天に引返し京奉線に依りて八日北京歸著の豫定なり

九州見物（三）
磐溪生

勞力缺乏（二）

勞働者は主に筑前筑後豐前肥後方面から集つて來るが、工場鑛山其他各種事業家の爭奪が激しいから自然勞働者の移動が激しくなる募集員が暗中飛躍白晝飛躍に依つて狩集めても勞働者の腰が据らぬから

◎補充難の聲は 絕えない製鐵所などでも『未經驗者月收十九圓五十錢外手當あり』などと職工募集の廣告を貼出して居るが仲々所用の人員を得る事が出來ないので互に運の別莊行きと同樣職工の募集難を喞じて居る、然し勞働者が尠いからと言つて手を束ねて居れば機械の運轉が止まつて了ふから何等かの方法に依つて補充の途を講じねばならぬ、製鐵所の如き大規模の

◎機械力を應用 する處は別として普通の工場では男工の補缺として女工を採用して居るが坑部の發達した諸ら頗の女勞働者が石炭滓を擔いだりトロッコを押したり梅干のやうな老婦人がシャブルを振つて居る處を見ると婦人の職業が著しく擴張されて男の領分に侵入して行く事を見逃がす理にはゆかぬ、然し乍ら我々は各種工場に於て多數の

◎婦人勞働者や 女工を見受ける毎に能率の低い婦人が職業社會に重要の地位を與へらるゝ程勞働者に缺乏して居る今日、何故朝鮮人勞働者が盛んに移入せられないであらうかと不審を抱かずには居られなかつた、朝鮮には無數の下級勞働者が街頭で長煙管を啣へて居り青年子弟は無爲徒食に耽つて居る、近年漸く勞働者の移出が行はれるがそれとて九牛の一毛に過ぎない

◎一衣帶水の間 にある北九州の工業家が朝鮮の事情に比較的精通して居る筈であるにも拘らず茲に着目しないのは迂濶極まつた話ではあるまいか、某々會社の工場監督は朝鮮人は動作が鈍くて懶惰で頭の働きが粗雜であるから職工としては不適當である、可成多數の鮮人を使用して居たものもだん〳〵淘汰して最近では其數が非常に減つたと言つて居るが一時的の試驗に依つて直ちに

◎評價を下すの は酷である、尠くとも勞働生活に慣れしめ工場生產なるものを理解せしめ職工としての技術を習熟練磨せしめた上でなければ勞働者たり職工たるの適否は遽かに斷定し得ない筈である、現に大阪東京方面では多少の缺點を認めて居り乍らも朝鮮人を歡迎して居る處を見ると彼等にも又特長とすべき處があるに相違ない

◎長所を捉へて 甘く利用するのが事業家の手腕である以上內地勞働者の專橫粗暴に苦しめられ勞力の缺乏に惱んで居る今日柔順にして體質優良の朝鮮人勞働者を採用するは資本家の利益であらうと思はれる

同夜七時二十五分京城通過歸東の豫定なり

小原長官出張

小原農商工部長官は三日附を以て往復十日間の豫定にて咸鏡北道並に間島方面視察の爲め出張を命ぜられ不日出發すべし

中村檢事長歸任

司法官會議列席の爲め東上中なりし中村京城覆審法院檢事長は四日午後九時南大門驛著列車にて歸京す

川崎技師歸任

米國及び濠洲へ出張中なりし鑛務課技師川崎繁太郎氏は四日朝歸任せり

青木農務課長歸任

福岡其他へ出張中なりし農務課長青木戒三氏は四日朝歸任したり

柳河傳習館生徒修學旅行

柳河の福岡縣立中學傳習館生徒約百名は修學旅行の爲め來る十八日頃當地に來る可し

人消息

▲福岡師範生見學團 四日夜入京の筈
▲服部三郎氏（新義州製紙會社） 四日朝入京 天眞樓へ
▲服部小十郎氏（實業家） 同上
▲佐々木慶尙南道長官 四日朝退京
▲藤川平安北道長官 四日朝退京
▲岡田榮氏（代議士）三日夜東上

有賀理事動靜

四日朝入京せる有賀三井合名會社理事は同日午前中高野支店長の案內にて總督府及び主要所屬官署銀行會社を歷訪午後市中を視察し同六時半より千代本に三島片山兩鮮銀理事以下實業家三十名を招待張宴五日午前中市中及び郊外視察正午朝鮮ホテルに於ける記者團の招待に應じ午後三井物產支店のテニスコート開きに列席午後六時半より各部局長官を招き饗宴六日午前午後市中視察正午は鮮銀の招待に係る明月館午餐會に列席夜は山縣政務總監の招待により朝鮮ホテルの晚餐會に出席七日午前九時五十分南大門驛發金郊に向ふ

酒前茶後

○死せりと報ぜられ、死せずと傳へられ、又た死せりと云ひ、再生二死の陸榮廷の生死は、遂に謎に苦む。而も二日北京よりの電報に依れば陸榮廷は孫文に代りて非常國會大元帥となれりと報ず、益々以て不明也。

○陸や綠林の出にして、［illegible］の出身也。彼や機を見るに敏に、故に其出處進退にも、端倪すべからざるものありし也。即ち其端倪すべからざる所は［illegible］大野心にありし也。彼の大野心をして實行せしめざるは殘念なるも、端倪すべからざる、彼の訃報は又た一奇と云ふべし。

○露國の名物娘子軍も、最早夢の如き話となりしが、土耳古にても、婦人軍を組織し、戰場に使用しつゝありと。其他の輜重隊のならば、イザ知らず。名高き外出嫌ひにて、決して男に顏を見せぬ土耳古婦人が、白面を晒して軍事に勤務さは、恐らく世界珍談の一に數ふべし。

○女と云へば、此頃は恐ろしく女力の發揮を見つゝあるが、伊太利のエリスベルミニと稱する婦人は、商船々長として就航せりと。女の船長は名實共に相應、龍神の御機嫌も能く、定めて航海も安全なるべし。

十一月一日現行
［illegible］

南山幼稚園の端午の節句

南山幼稚園では五月五日のお節句を土曜の四日に繰上げて若葉の校内で、武者人形に五月の花を飾り添て楽しい端午の御行事がありした、けふを晴れの男のお子さんの元気な姿、お稚兒の女のお子さんのやさしい笑の中に節句のお唄や遊戯があつて、それから小さいお重箱のお祝ひの赤飯を頂戴して、お土産のおまんぢうを持つてニこ／＼されて居ました、この日のお客様は母さん姉さんが重で五十餘名、みなお子様方よりもうれし相な顔をしてゐられました

浦鹽物騒

廿三名鏖殺事件
＝强盗殺人續出す＝

浦鹽は各國陸戰隊上陸以來激變なく小康を保ち居れるも强盗殺人等は殆んど連日の如く續出し殊に最近は市外近郊の場所に頻々として

◆◆惨事發生 去る四月二十四日ウスリー灣の一部タワイザ灣に於ける一家鏖殺事件突發し該所は露人の經營する農園にして同日二十一名の兇賊來襲し主人ドビカロウツキツチ夫妻及び十歳の愛嬢と使用人

◆◆露鮮支人 二十三名を縛し皆一様にコメカミを銃丸にて打貫きて卽死せしめ財物を掠奪したる大惨事あり官憲は目下犯人大捜査中なり（四日朝京城某所着信）

▼浦鹽鏖殺別報

此程浦鹽烏蘇里灣大農場牧畜業露人カローウイツチ方へ二十一名の露人强盗入り主人夫妻鮮人四名支那人九名以下十二名を虐殺金銀强奪又浦鹽電信局長宅十五萬留の現金强奪されたりと三日敦賀歸著者語れり（敦賀電報）

琿春觀察團 消防演習參觀
次で總督の午餐會へ

三日夜入京せる琿春在住朝鮮人觀察團は四日午前八時より總督府訪問長谷川總督に敬意を表し構内を一覧の上同十時より警務總監部に赴き庭前の廣場にて常備消防隊の

▽消防演習を參觀したるが消防隊にては水管自動車、機械梯子、蒸氣喞筒、水管馬車等精鋭なる消火武器を並べ立て水道栓にホースを引き込みて噴水の實演又は直立四十餘尺の

▽機械梯子を以て罹災者を救ひ出す所などを恰かも實際の火事場で働くやうに機敏に立廻る常備消防手の動作に吃驚し水管自動車を縦横無盡に操縦して走らせる事を物珍らしげに打眺め一同感興と驚異とを以て

▽約一時間 餘念なく觀覧の上正午よりは朝鮮ホテルに於ける長谷川總督饗應の午餐會に臨めり

加賀丸歸還
遭難生駒丸乗員を載せて

歐洲航路加賀丸は三日神戸歸著擊沈されし生駒丸の船員も便乗歸還せり（神戸電報）

村民三百工場を襲ふ
煙害問題にて

愛媛縣宇和島郡明治製煉佐島工場煙害問題未解決に付き村民三百憤慨し同工場を襲ふ目下其筋にて警戒支配人と談判中也（宇和島電報）

疑似腸窒扶斯
平南に六名

平南大同郡南串面大耳島里李東淳外五名は去る二十九日頃より疑似腸窒扶斯に罹りしとの急報に接せし平壌署より係官醫師出張防疫に努め原因取調中なるが幸ひに目下の所傳染の模様なしと因に本春以降同面に於ける發生患者は合計十四名に達したりと（平壌）

秋田大火
縣下象潟町

三日午後秋田縣象潟町に火災起り百餘戸の家屋燒失せり原因は子供の弄火ならんと（東京電報）

兼二浦火災

四日午前九時市内雜貨商崔萬綉方より失火し警察消防出動し同十時鎭火せり原因は炊事場より傍の松葉に燃燒したるものにて損害三千圓なり（兼二浦特電）

▲平壌の出火 平壌柳町八十三番地鄭學麟方物置小屋より三日午前八時頃出火し一棟燒失同八時四十分鎭火せり原因は温突の灰を垣根に撒きたるためなりと（平壌）

丹波の大火

丹波船井郡上和知村字臺谷小字井の本山口國太郎方より出火廿一戸灰燼に歸す（京都電報）

行金千萬元を費ひ込む
長春殖産銀行主任の悪事

長春殖産銀行主任洪兆熊は豫て酒色に耽溺し多額の金を浪費し居たりしが取調の結果行金十萬元を消費し居たる事發覺し北京財政部の命に依り鎮守使裴旅長の手にて四月二十九日逮捕せられ目下取調中なり（長春特電）

赤帽賃金値上

滿鐵京城管理局では停車場構内に於ける手荷物運搬料金を從來旅客一人に付三錢釜山驛と連絡船間は七錢であつたが五日より各驛何れも荷物一個に付三錢釜山驛連絡船間は五錢に改めた

久留米江南山梅林寺大法會
禪僧の來集する者多し

九州一の禪窟として名も著き久留米江南山梅林寺では去る二十五日より三代住職正宗羅山禪師五十年忌並に先住中興猷禪老師一周忌の大法會が行はれて居る此れに集る雲衲は遠く京都建仁寺の四十八名を筆頭に博多聖福寺の四十名中國九州の禪窟といふ禪窟は一寺殘らず出揚し圓頂黒衣の掛錫の雲衲正に五百名を敷へて居る一昨年近江八幡の圓福寺に於て行はれた大法會は八百名の雲衲が集まつたのに次で本邦禪林稀に見るの大法會である昨年博多聖福寺の大法會の砌は二百名の雲衲に同地の人の舌を巻かせたが今回の梅林寺は五百の雲衲に戒徒三十名の善男善女が集まるのみならず建仁寺管長竹田默雷師を始め八十二歳の高齢で鐵禪和尚壯者を凌ぐ禪林の一異彩たる中原南天棒さては戒律正しく宗徳高く一世に秀づる扶桑最初の禪窟たる博多聖福寺の東瀛老師徳を同うする大生寺老師、九州禪窟の高徳豐後養賢寺住職、博多三刹で名高い承天寺住職と梅林寺現住老師等斯界の大徳連が一堂に集つての大法會とて近來稀に見る盛況を呈して居る（久留米より）

朝鮮銀行野遊會
三島片山理事等の競技

朝鮮銀行は定例により五日午前九時より春季野遊會を景福宮内後庭で催す事となつたが競技四十一回の多きに上り餘興として寳探しや綱渡りや假装行列などをやる筈ほ行員約四百名と家族が行くから一千名以上の來會者あるべく三島理事片山理事吉田局長等も老骨提げて競技に撰手として出場するさうで盛んな野遊會であらう役割は左のやうになつてゐる

會長三島理事、副會長片山理事、運動委員長吉田局長、競技飯泉課長、設備松原課長、接待松原課長、餘興不破秘書役

漢銀遠足會

株式會社漢城銀行にては來る五月五日水原に遠足し勸業模範場農林學校等を參觀し西湖、訪花隨柳亭抗眉亭等を探勝同日歸行の由

遠乘會次第

龍山偕行社主催にて來る五日纛島附近に乘馬遠乘會を催ほし一日の清遊を試むべく計劃中なるが當日は松川立花兩中將を初め多數の陸軍將校及び京城乘馬俱樂部より鈴木、村田、權藤等の諸氏十三名加はるべきなるが其の次第を聞くに同日午前九時三十分衛戍兵場集合同四十分出發梨泰院東方松林地帯を過ぎて往十里に出で纛島に到る豫定にして正午纛島模範場に於て偕行社設備の酒饗を以て晝食をなし午後一時三十分纛島出發清凉里及び祭基里を經訓練院に於て解散すべく此の行程約五里半なりと

三井の庭球コート開き

正午から一行賀理事も臨席する

五日午後二時より開會の筈であつた三井物産京城支店の明治町裏空地に於けるテニスコート開きは出場撰手京龍の各官廳銀行會社の主なる向を殆んど網羅し正午十二時より始める事となつた又入京中の行賀理事も臨席すべく三井では高野店長笠原天野兩店長代理も大に若がへりて選手中に入るさうである

◇栃木山の初土俵入◇

私の最も愛する少年少女へ
龍山 涙光

▲ポプラの若葉が陽に映ねて居る時は少年の輝く瞳を思はせられます、また雨にうるんだ風情は輝く瞳に美しい、そして汚れの少しもない純な涙を思はさせられます、私は少年を愛し、私にも斯うした時代のあつた事を懐しみます

▲緑濃き初夏の天地に獨りあざやかに咲き匂ふる梨の眞白い花は美しい少女達の心でせう、雨に打たれた姿のいぢらしい姿は逝く春を追ふ少女の瞳の涙によく似て居ます、會堂の夕の鐘が鳴る時は私は幸薄き、幸多き幾多の少女達を思ひます

私は少女を愛します、眞白い心の底から湧いて來るその美しい乙女の涙は何物よりも尊いものに思はれます

▲私はこの京城に來て少年の日から求めても求めて得られなかつた私の最も愛し私の最も好きな少年と少女と廻り合つた心地がいたします、旅から旅へ、いつ果てもなう私は皆様を求めて歩きました、そして今やうやく私の求むる皆様と廻合しました私の頬には嬉しい涙が光つて居ります

▲牛耳洞のお伽會も歡樂の春に向を張るにはあまりに幼稚でありました、幼稚園の講話も私で、私の心に不滿の點が多くありまた

技藝校の講演も何だか物足らん思ひが致しました、しかし私は私の探し得た皆様に、私の努力の全部をさらけ出して笑つて泣いて、泣いて笑つて貰はなくてはならない責任があります

▲これから毎週土曜日の夕刊には『京日紙上お伽講演』を載せて皆様の目で聞いて頂きます、そして毎月講演會を開いて紅の唇から溢るゝ笑ひと涼しい瞳から溢れる涙を私は見せて頂きます、吾京城日報は唯一に皆様の讀んで悪くない新聞である事を喜んで下さい、第一回の五日の日の出校の講演會は私のために最も懐しい皆様に初めて逢ふ日にと思ふと嬉しさがこみ上げてペンの動きもにぶります

話す話はまづくても皆い文字はまづくても私は永久に皆様に最も仲の好い友達となして下さい

▲そして私は聲が嗄れて出なくなるまで皆様と共に笑つて歌つてそしてお爺さんになりたいと思ひます、いざ皆様五月の五日は學校はお休み、一年一度の端午の御節句、お出なさい私の愛してやまない少年少女達きつとお出なさい日の出校のお伽會へ、笑つて笑つて歌ひませう

寺社と教會

◉日本組合京城基督教會（南米倉町）五月五日午前十時半外國宣教師渡邊牧師と宗教〔illegible〕宮川牧師午後八時『信仰の成長』宮川牧師當日は西大門外鶴翔園にて野外禮拜祭親睦會開催有志の參會を歡迎す

◉日本基督教會（長谷川町）五月五日午前九時日曜學校及大人組禮拜講義（金子牧師擔當）十時禮拜說教『基督の理想』金子牧師、洗禮及晩餐式執行、午後八時傳道說教講物の上に在れ（金子牧師）來聽歡迎

◉日曜說教 旭町二丁目日本メソヂスト京城教會 午前八時四十五分日曜學校、午前十時禮拜說教『〔illegible〕』午後八時傳道說教

◉信友會講話（南山本願寺）五月四日土曜午後七時半より靈中之鐵、崎番次內文學士、暗黑と光明、林同教員

讀者文藝（一等には五十錢の洋讀券を呈す）

▲下句付『浮き沈み』

○浮き沈み親の無い娘の美くしく（一等）　京城御成町三二角川方　角 戀坊

▲單調よりもましと云ひ　京城 默 戀 坊
▼故になるまでの一管坊　京城 浪 史
▲戀が流る、常東　龍山 秋 芳 子
▲世の荒波に角がとれ利川　〔illegible〕 晃
▲落ち流れて夏に入り　京城 草 香 姫

灯もと頃

▲日本一の大男と言ふ記事を見て遞信局の〔illegible〕作君が恐んな事を言つてよこした▲彼の居村では〔illegible〕名は下仲次は知らんか六尺ドンと言へば誰知らん者はなく太刀山さ雖も三舍を避ける程の大男▲或時力試めしに人が傷居に入つて居るのを其儘抱へたさか或る役場の吏員が田の中に馬の仔が放たれて居る様子だから行つて見よと六尺ドンが熱心に耕作して居たので驚いた事もあつたとか六尺ドンの隣家に仲善しの一寸法師君が居たが或時二人連れで山奥に鳥狩しに出掛けた處▲薪取りに來て居た四五人の者が大男さ小男が遊んで居たの的きり山の神さ驚仰天一目散に逃げ去つたなどもあつたと云ふ▲〔illegible〕此の體格では一日に牛肉二斤も食んさ〔illegible〕に陥る處があると言つたとの事だが▲子供の愛も知らざる彼にはせめて食物丈けでも充分に與へたいものだ▲近頃東京や大阪から何々の披露に依り招待状を差上げたく候間御來臨下されたくなど言ふ招待状が舞込んで來るが知つて形式的に敬意を表するなどは〔illegible〕に遊びじゃないか▲殊に招待状が〔illegible〕いた頃には招待状が舞つてゐるのさへもあるから敬意も茲に至つては〔illegible〕になる

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙に一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等〔illegible〕

商況

兵庫期米

四日前場 寄付	二十六圓八十七錢
二節	九十八錢
三節	〔illegible〕

東京期米特電

四日前場 一節	二十七圓
二節	〆一錢

大阪株式特電

銘柄		後場	前場
戸台川水	〔illegible〕	〔illegible〕	
東亞製紙	〔illegible〕	〔illegible〕	
東洋紡績	〔illegible〕	〔illegible〕	
鐘淵紡績	〔illegible〕	〔illegible〕	
同上新株	〔illegible〕	〔illegible〕	
東洋精糖	〔illegible〕	〔illegible〕	
大阪商船	〔illegible〕	〔illegible〕	
日本郵船	〔illegible〕	〔illegible〕	
同上新株	〔illegible〕	〔illegible〕	
堂島米穀	〔illegible〕	〔illegible〕	
東京株式	〔illegible〕	〔illegible〕	
大阪株式	〔illegible〕	〔illegible〕	

大阪三品特電

大阪期米特電

限月	四日前場
五月限	三一・九五
六月限	三二・四五
七月限	三三・六五
八月限	三三・六四
九月限	三三・八〇
十月限	三三・八五

下關期米特電

四日前場	當限	中限	先限
寄付	二六・五六	二七・〇〇	二七・〇六
二節	〔illegible〕	〔illegible〕	〔illegible〕
三節	〔illegible〕	〔illegible〕	〔illegible〕

雜報

綿糸布反落

三品は愈々人氣浮動にて今前場は當初二十七圓八十三百十九圓四十五錢先二十五錢三十九圓より前場より

至十七八圓乃十五六圓方の暴落

を演じ新市場以來の形勢を一變したるが何分相場の高下に左右せらる、今日の材料次第にては又如何なる變化なしさ限らず綿布又〔illegible〕安轉を移せしも

圓六十錢 三銘十〔illegible〕と割合手堅き成行きなりし

皮革類不勢

歐洲戰亂依然中絶の姿なる米國品の不勢を受け商況引續き數月して相場も自然下押しの傾きなり何分原皮は比較的好値を維持せる上製皮は兎角不捌け勝の折柄ボックスの如きは小資の製造業者中斷

製造を中止せる向多し

一面之等の關係より在品も次第に減少し市價の下落行はるれば今後逆しき市價の騰貴を見るやも知れず

市況の回復又容易

ならざるものゝ如し現下の市中相場は米國製皮百八十圓キッド一封四十錢ボックス七八十錢見當なり

白糖入荷と氣配

白砂糖は其後相變らず品不足なりしが雖も少量ながら到着の品あり當地内外商店等に於ては之を機として供給を圖りたる所多少の手心も加はり共日々を繋ぎつゝあるが今回仁川港に入荷せる

大里糖千俵足らず

は殆んど其大部分を占め白糖は約三分の一見當なるべく結局は小口の事なり此際之に加へて内外商店の氣配は比較的上に向けるが如し

鮮内市價の維持上

からして〔illegible〕一般の商況は〔illegible〕

京城正米

▲朝鮮一等白米	二十八圓二十錢
▲同(常用)	二十八圓十錢
▲同	二十七圓八十錢
▲雄基大豆	十七圓八十錢
▲同	十九圓十錢
▲元山大豆	十九圓十錢
▲金剛大豆	十九圓

精米の見送りに期米高も一割高の結果仲間の氣配は甚だ堅調なり〔illegible〕

南大門の廻穀

水原籾 九〇叺	平澤玄米 九五叺
議政府大豆 四〇叺	平壌玄米 一七叺
金村白米 八叺	木浦籾 三叺
黃州粟 三〇叺	平澤白米 一〇叺
郭山籾 二三叺	車峴籾 二〇叺
南市籾 二四叺	郭山玄米 二三叺
天安籾 四〇叺	安東粟 三〇叺
水原籾 一五〇叺	金村籾 二〇叺

仁川正米

▲穀の入荷夜來の降雨にて殆んどなし▲正米は依然として軟調を告げ居るも商談少々らず見送居れり

釜山穀物（三日）

▲正米（保合）出廻品は日々小口に出て相當に見當なる其後大阪方面の採算とりて其他にも〔illegible〕

仁川期米

四日前場（強硬）

▲第一節 大阪天候曇天二十六圓七十錢と昨止同事

▲第二節 當限來不申中二十四圓四十八錢と一錢高に寄付き

揮發油値上げ 一圓五十錢の値上發表

揮發油は今回一圓五十錢の値上げありて市中は赤貝印の十三圓六十八錢されたり引續き内地油は移入殆ど皆無なり

金巾類傍觀

内地綿糸布は輸出向の好調と新市場以來反撥氣調を傳へしも人氣の中心は綿相場の如何にあり而も昨今の綿成行は波瀾甚しく今後我が綿糸布界に如何なる反應を來すや殆ど捕捉に苦しみつゝある場合にて當市中も一般見送りの態度を取り賣買更に行はれず今日にては内地市場の變動も比較的感じ薄く只在荷の不調澤さ持品の大部が有力筋の手に握られつゝある爲め

底意は甚だ鞏固

なり現へは相場三二一二百八十七圓綿布十五圓見當な持合ひ其他

晒金巾

も品薄にて最近多少輸入ありしものも既に大半出拂らひたれば之又十九圓七八十錢さ好值を維持しつゝあり

寒天昂騰す

寒天は内地大手筋の買占め熱盛にして角物又品騰貴の勢を呈し市中相場も甚しく〔illegible〕

下關相場

▲朝鮮米は狂はず自來八百五十叺の輸入ありしが見角内地期正米の堅調なる爲め市況氣色も安からぬに迎へ各米主の氣組も堅く居る爲め商談進まず一等白米四百叺計りは殆ど出来なしまして廿八圓乃至廿八圓四十錢等に手合せ行はれたり

▲大豆は矢張不況にて其後水原産三百八十五叺元山特五百叺等の廻着ありに過ぎざるも何分在荷多くのみならず殊に大連産等の入荷の手控へ居る爲め依然見るべき不況にて持合の平均値段は二十二圓五十錢なりしも

▲小豆は活氣なし 共後北海道産四百俵の廻着に過ぎずして別段買手なく其の資れ行きに過ぎずして市況活氣なし

上げ 二十錢方値上

仁川期米

四日前場（強硬）

▲第一節 大阪天候曇天二十六圓七十錢と昨止同事

圓四十八錢と一錢高

に寄付き

三錢と押し 賣物漸く多く

▲第三節 當限來不申中二十四錢より五錢と跳ね三錢を押し五錢さ返し四錢先五十三錢より二錢さに引

▲第四節 當限來不申中二十五錢より六錢先五十三錢より更に二錢引

▲第五節 當二十二圓十五錢引中二十七錢より五錢引先五十五錢より更に六錢さ新高値

上仲十六錢と折柄大阪二節七十八錢の入電に

今筋の買注文

ならんとの噂に一部の崩れを招致したると賣物の殺到にて〔illegible〕の延著は更に迷ひ深く種々の風說を逞ふす〔illegible〕

釜山水產市場（三日）

▲百二千、一百四十七圓六十五錢▲八十五隻▲たい二十四圓▲小ぶか四圓▲ひらめ九圓▲さば十八圓▲あなご九圓▲たこ七圓▲いか八圓▲めばる七圓▲ぶり十三圓▲さば五圓▲雜魚九圓

株式界良好

北濱たより

〔illegible〕

市場雜觀

▲昨後場は大阪前場正十二錢東京九十錢高と跳ねたるが反り又賣物多く〔illegible〕

仕手の關係は將に移動しつゝあり

〔illegible〕

内地各地

〔illegible〕

仁川取引所

四日の七月限

寄付	二十二圓四十八錢
〆	二十二圓四十五錢
高値	二十二圓四十八錢
安値	二十二圓四十四錢
出來	〔illegible〕

米豆取引所仲買人 菖 仲買店 電話二八一長二八三 略シ又は(カクシ)

仁川米豆取引所仲買人 唐澤正次郎 仁川海岸町三ノ一 電話長一六〇番

信實仲買店 仁川 電話五一〇番

前釜山入港新羅丸二二等客 〔illegible〕

四日の七月限

寄付	二十二圓五十五錢
後場	〔illegible〕

先五十五錢と一錢高に寄付六錢二二十七錢八錢九錢三十錢平均值二二圓五十五錢〔illegible〕

大阪期米

大阪 晴れ一時曇 五月五日

◉東支線獨立

◆ス氏の晋京せし理由◆

今回東清鐵道長官ホルワット氏の入京に就きては種々の風說ありしが東清鐵道の獨立問題はその主要條件たりしが如く過般來露國公使コダシエフ公及び支那側と協商の結果四月二十七日北京露亞銀行にて株主總會を開き同鐵道の自主を宣言せり一八九六年の東清鐵道條例に係る同鐵道の事務所は露都及び北京に設くることゝなり居れるが最近過激派の跋扈と共に穩和派の過激派に對する自衞策として露都との關係を斷つべき必要生じたる爲め今回株主總會の結果露支協約に基き

郭宗熙氏を總辦に

ホルワット氏を副總辦兼長官に

以下管理人を露支兩國より數名選擧し以後同鐵道は露國政府と全然關係を斷ち自主的地位に立つべくその地方的行政權は全く正副總辦の管理に歸することゝなれり是れより先米國は早く西伯利方面に活動し東清鐵道に少なからず鐵道材料を供給し最近鐵道隊百餘名を派し同鐵道の輸送管理權を收得せんと謀りつゝあるが同鐵道隊の派遣は露國政府との契約に基くものなれば今回同鐵道が

自主を宣言せば

「契約は自ら無効に歸すべく」之が爲め同鐵道隊委員長スチブンス氏は先日來北京に至りホルワット氏に對し米國政府の東清鐵道に對する從來の援助は何等金錢的報酬を求むるものに非ず且つ今後とも更に援助するところあるべければ其自主と否とに拘らず從前露國政府との契約を繼續すべき旨を要求しつゝあり(間島)

◉鮮人の間島移住

三箇月一萬人

◆而も資力ある者多し◆

間島と謂へば鮮人の移住と聯想せしむる丈あり毎年七八千乃至一萬人の鮮人は朝鮮から吐出されて間島に耕地を求めてをる然るに昨年から移住數は俄かに激增し奔流の決する如く先を爭うて移住するものであるから從來荒蕪地であつた溪地なども彼所是所と朝鮮部落が新に現出し鮮人分布の狀態が以前と趣を異にするに至つた試に本年一月から三月まで三箇月に會寧方面から進入した移住鮮人の數を擧げると千九百餘戶六千八百餘とありて愕くべき破天荒の數を示してをる故に各方面からの進入と通ずるときは此三箇月間に一萬人の移住鮮人は容れたものと解釋が出來る是等の鮮人は直ちに力耕地に就くのであるから昨年に比して本年は夫れだけの生產力を增す所以となるのである、所が間島の移住鮮人と云へば是れまで朝鮮北部の產に限られてをつた觀があつたが近來は朝鮮各道の產に亙り而して多少たりとも資力を提げぬものはないやうだ是等は注目すべき興味ある現象である(間島)

◉仁川の滯貨は

◆聲耳にて實數は少し◆

鐵道受托貨物の數量が動もすれば貨物の現在數と相違する事は從來故意に或ひは過失に間々繰返へされて來た事で今以て其弊を一掃する事が出來ない而して滯貨の聲は多く鐵道の受托數量を以て直に其聲を大にせられて來たのであるが實際に就て見れば呼稱する程の

◆滯貨の數量と

◆現在數とは甚しき懸隔のあるを◆

發見し得らる是等は鐵道當事者の最も迷惑を感ずる事なるのみならず輸送計畫の上に於ても頗る齟齬を生ずるの虞れがあり托送者其者の德義に就ても亦大いに悖る處があると云はねばならぬ、然るに此の事實が仁川にあるとは仁川移輸出業者の爲めに果た又一般商人の名譽の爲めに甚だ遺憾とせなければならぬ過般鐵道管理局で仁川の滯貨が餘りに多いとの聲に驚き果して實際の貨物が托送數量の如くに現存してゐるのか否やに就て各托送者の現品を調查し托送數量は連絡貨物の滯貨約六千噸現其車輛數は二百八十五車と云ふのであつたが

◆調查の結果は

◆其の一割五分乃至二割位ゐは◆

空貨托送と云ふもので即ち現品が無いのであつた、申込者の氏名を擧ぐる事は名譽の爲めに遠慮して置くが試みに其の數量の比例を示すと申込車輛六十二輛に對して現品は四十輛差引二十二輛は空貨で鐵道の受托數から見ると約五百噸は不足する譯である又五十六輛の申込みに對して現品は二十五車不足の數量が却て多くして三十一車と云ふ不都合な者もあり甚だしきは僅か二輛の申込に現品皆無と云ふ種類の者もある、之等は一々

◆荷主にも相當の

◆理由の存する處で其の主張の◆

一面は又多少傾聽に値ひしないでも無いが斯の如き狀態に在つては何れにしても鐵道當事者の迷惑は一方でなく更らに此の事實を暴露しては將來輸送業者の信用を失墜して輸出商の蒙る打擊は直接間接に甚少ならざるものがあるだらう斯の如き弊害を生ずるに至つた原因に就ては尙ほ幾多の恕すべき事情のある事は事實であるが荷主側の主張する主なる點に貨物の輸送期間を確實に明示して貰ひたいと云ふ事にある而して此の輸送の

◆豫想も出來る

◆今日の運輸に在つて難り◆

荷主側の託送を確實にせよと云つても取引關係上時に或ひは別途の輸送を試み或ひは商談取消等の場合を生ずる事多くして最初の託送を確實に保證する事の出來ない理由を生むで來ると之等の事情は鐵道當事者も充分の了解を持つて居る譯であるが、荷主に於ては託送貨物の異動を生じた場合其の託送を取り消さずして之を又後日の發送貨物を生じた場合に充當する考へで放任し或ひは等閑に附すると云ふ手段を講じて居る之等は

◆故意に出た者

◆ではないが一つの手段として◆

從來之を放任せられて來たので今日の如き事弊を生ずる樣になつて居るのであるから將來之等の弊を一掃するには如何にしたら好いか此際荷主の德義に俟つて始めて此の種の相違なからむと期すると共に託送後の現品異動に對しては遲滯なく其都度取消或ひは變更等の手續を了して貰ひたいとは當業者の希望である管理局に於ても將來斯の如き弊害を一掃する爲めには時々其の荷主に對して託送現品の調查引合はせを爲さしむる事になつて居るから此後は好意的に驛員の隨時荷主廻りを行ひ以て依賴書面と現品との對照をして勤めて此の種の弊害を除きたいとの事である

◉免稅と奸手段

◆當局者の注意を要す◆

四月十六日附法律第三十七號を以て生牛米糠生絲笄鐵板鐵及び鐵道建設用材料(鐵製のもの)コールタール油石炭酸ナフタリン其他コールタール分餾物及び瀝靑の內地移入稅免除を公布せられたるが之に就ては從來朝鮮產米糠生果其他に對し內地移入稅の免除若くは低減と同樣に主として朝鮮に於ける產業開發の趣旨に基くものなるは言を俟たざる處なり然るに當業者に於ては或ひは之を不正の手段に用ひ外國產品若くば朝鮮產及び外國產混淆の物品を朝鮮產と詐り內地へ移出する等不都合の所爲あるものなきを保し難しと之等に關しては當業者は其の趣旨を體し斯の如き事なき樣注意すべしと(仁川)

◉大連展覽會

◆世界的に催さんとす◆

南滿洲教育會の主催に係る教育品展覽會は本年八月廿五日より一週間の豫定にて大連に於て開催せらるゝ事となり滿鐵教育研究所內に事務所を設けたるが其出品は內地各府縣の教育品及び各府縣獨特の參考品より廣く世界各國の出品を紹介すべく過般來歐米其他十萬以上の人口を有する各都市に對し都督より市長宛出品の依賴狀を發せるが目下續々出品の申込ありて豫定の通り教育品の出品整頓せば實に世界的展覽會と稱すべく其他左の如し(大連)

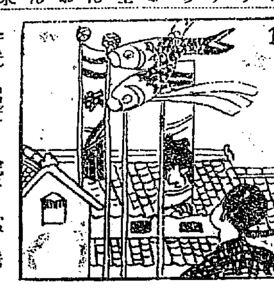
會場は支那人教育部を、伏見臺大連公學堂に初等教育第一部を西公園町第三小學校に、中等教育(第二部)實業及び專門教育(第三部)社會及び特種教育(第四部)を滿鐵工業學校に、一般參考品(第五部)を東公園町第四小學校內に設け、觀覽時間は學生午前八時より十一時三十分迄、一般觀覽は午後一時より五時迄出品(一)各學校生徒の成績品(二)設備教具校具學用品等(三)教材研究物諸統計(四)地方の代表的人物詩歌神社等を中心としたる特種の施設方案等(五)其他各地各種學校を通じ特色ある教育品等

京日紙上お噺講演

少佐の愛馬

龍山 淚光

いつも殺坊の武士さんは今日は日曜で學校もお休みなのに大元氣で朝早くから起き出して心地よい朝風に吹かれて大空に鯉つて居る鯉幟を仰いでニッコリと嬉しさうな微笑を可愛い顏に浮べて居ます三月三日の桃のお節句に妹の光ちやんは賦々をこねて武士さんは仲間に入れませんでしたが、武士さんは光ちやんもそして光ちやんのお友達もみんなそして自分のお友達も澤山にお招きしてお父さんからお祝に開いて貰ふお御會に來て貰ふ事にしたのでありましたお遊び飯が濟んだ頃から松雄さんや竹雄さんや梅雄さんそれから光ちやんのお友達の松子さんに竹子さんに梅子さんその他澤山のお友達がゾロゾロ集つて來ました、みんな二階の大廣間に飾られた武者人形の前でお菓子や林檎など頂いて居ます間にお伽噺の先生も見られました、みんなお行儀よく坐り直してお靜かに待つてゐますと先生は卓の前に立つてニッコリそしてエヘンと一つせきばらひをして『今年は千歲のお節句で今お父さんから聞けば武士さんも午歲生だそうですから、それにちなんで少佐の愛馬と云ふお話を致します』と云つて



× × × × × × × × × × × ×

今から十四年前我日本の國は東洋の平和を保護するために露國と戰爭をしなければならない事になつて戰ひの火蓋は切つて放されました、そして滿洲の野に出征した勇敢なる兵士達は世界の何處の國にも見る事の出來ない大和魂を大にして 天皇陛下や我國人のため盡さなければならないと云ふ忠義な心を持つて居ますので戰へば勝ち攻むれば取ると云ふ有樣で明治卅七年の十月十日には沙河といふ處まで攻め込んで參りました此城は露國の兵隊が金城鐵壁と力に賴んで居たゞけあつて、なかなか丈夫で落し入れる事が非常に困難であります、既に沙河を攻擊し始めて今日で五日になりますけれ共敵は容易に白旗を揭げないのみならず、雨や霰と砲銃彈を味方の陣に降らせて哀れ我忠勇なる兵士達は此處にも其處にも散を亂して無念の拳を堅く握り締め、齒を食ひしばつて倒れてゐる樣は何と云ふ悲壯な事でせう、こうした中に敵味方の間はいよいよ近くなつてきて我伊藤砲兵少佐は愛馬の漣に打またがり先頭第一に立つて砲煙彈雨に間をくゞり少佐の隊が敷くべき陣地なる山の麓まで進んで來ました、少佐は馬からヒラリと降りて漣の鬣を撫でながら、丁度人に話でもする如く『のう、漣、私の云ふ事も好く聞いて呉れ、お前と私は出征以來只の一時も離れた事はない、どんな苦勞も共にして野にも山にも共に臥し、今日までの戰功はみんなお前のおかげであつた、けれ共今日はこんなに敵陣に近いて居るのだから殘念ながらお前を連れて行く事が出來ないから、お前は此處で私の凱歌を奏して歸つて來るのを待つてゐて呉れ』少佐は聲に一段力を入れて『若しこの戰ひに私が討死した時はお前は私の死骸を古鄕の妻や可愛い坊達に送り屆けてやつて呉れ これ漣……私の云ふ事が解つたか』と少佐は聲を曇らせて横を向いてそつと淚を拭ひました、これを聞いた漣はさも聞分けたと云ふ如く頭を二三度打振つて目には淚をためて別れを悲しむ如く少佐に縋り著いて離れません かゝる時しも水野大尉の弟の水野上等兵も敵の砲彈に倒れたとの報告を聞いた少佐は『漣、行くぞッ』と駈出しました馬はヒヒヒンと聲を立てゝ鳴きました、そして少佐は陣頭に立つて暫時奮戰しましたが、虛空に響く砲彈はアッと云ふ間もなく少佐の胸板を篦矢とばかり打碎いたので『殘念だッ』と一聲、倒れて遂に無殘の戰死をとげられました、この時、後陣につながれてあつた愛馬の漣は何物に驚いてか一聲高くヒ、ンとむせび鳴き、手綱振り切り猛り狂うて馳せ登りました、そして少佐の紅に染んだ屍を搖り動かし搖り動かし『どうぞ御主人樣最一度、漣、と一言呼んで下さいませ』と鳴くやうに顏をすり寄せ聲を絞つて居りましたが、やがて軍服の襟を咬へて、どうでもして助けようと右に左に動かす いぢらしさ馬ながら忠義な心に並居る將卒は軍服の袖を濡らさぬ者はありませんでした、やがて一人の將校が『この勇ましい馬までも敵に殺されるのは殘念である』と鞍に屍を打乘せて從卒に手綱を引かせるとトボトボ心得たやうに首をうなだれて〳〵と驚きして下つて行きました

先生のお話が濟むとみんな淚をソッと拭いて笑ひながら顏を見合せホッと息をつきました、そして馬でさへあんに忠義をするのだから僕等は別してよく勉强して偉い人となつて忠義を盡さなければならないと決心しました。空には鯉幟が勇しく躍つてゐます

仁川米豆取引所

△四日後場 大阪前止め後寄り未著にて當限二十二圓十七錢より八錢中二十六錢 △合ひ結局一錢乃至打止めたり △後場當限一節二十二圓十七錢八錢平均値十二錢四節二十錢 △中限一節二十二圓二十六錢二節 [illegible]

◉連絡船上陸客 三日午 [illegible]

演藝案內

本町五丁目 電話二參二八 稻荷座 ▲愈々當る五月四日より開演 浪界の壯年家 桃中軒雲太郎來る [illegible] 好浪家諸君聞き逃し玉ふなかれ

明治町二丁目 電長三六〇番 浪花館 ◎五月二日より開演 △新講談 神田伯道氏來る 毛利公爵家に於て [illegible] 小松宮殿下の御前に二回迄も御前講演の光榮を賜わりたる斯道の大家なり ▲落語種々(三遊亭千代子)▲寬政力士 [illegible] ▲家庭人情 大久保利通暗殺 ▲露探西脇大尉、壯士之鐵腕、星亭登之辨讀(長講三席)(伯道) ◎入場料は今回に限り破格金拾五錢金廿錢

電話二三六三七 二三六六 黃金館 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 當る五月四日より愈々提供 ▲滑稽 ガツセルの逆行 ▲新派悲劇『一兒雷也』全四卷 [illegible] ▲ミラの秘密 [illegible] ▲兒の娘 全四卷 [illegible]

京城壽町 電話五七八番 壽座 五月六日午後六時より開場 前代未聞のキネマカラー應用 ▲活動連鎖劇 瀨戶內海一行 藝題 航海日誌 全貳拾壹場 [illegible]

十川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館 [illegible]

櫻井町 電話八七三 大正館 當る五月三日より大寫眞提供 ○米國キーストン會社製 △滑稽『コンクリン驅落』全二卷 ○新派悲劇『古丁字』全三卷 ○冒險活劇『森の奇人』八千呎 ○『阿波十郎兵衞』全四卷 [illegible]

京城 告 朝鮮在鄕軍人ニ對シ勸務演習前ノ旨發布ニ就テハ在鄕軍人心得書配布候條至急分會ニ於テ受領セラレタシ 京城在鄕軍人會分會

各蠶種 肥後隈府町 吉井蠶種店 三月ヨリ九月迄毎日出穴

債券高價買入 [illegible]

賣値 八右(五圓券廿錢十圓券五十錢) 御買入送料十錢要 代金引換不扱 公債債券賣買取扱商品切手高價買入 大阪南區鰻谷町三(心齋橋筋東入) 電話南一六八二 振替大阪五八三七 鹿海商店

本日より江戶生粹の風味佳良の木の芽豆腐出來ますどうか入らして下さい 京城旭町一丁目(電二〇〇一番) 湯豆腐 かりかね

軍隊拂下品販賣 ▲被服類一式 ▲合服類一式 ▲利服、洋服類春向夏物一式 野店特製品 中古品 右特別勉强販賣仕候 ◎特別賣却 二噸製製氷器 壹臺 京城府龍山元町二丁目 金子奧市商店 電話長一〇五番 振替京城三八一三 ▲御不用品精々勉强買入可申候

欅賣却 欅建築材車輪材看板用 各種多數入荷致候特別安價にて賣却仕候間多少共御用命の程奉願上候 京城黃金町四丁目角一九〇 建築業 深堀工場

外科、內科、婦人科 徽毒、淋病、皮膚 六〇六號注射每日 龍山元町(本願寺前) 醫學博士 小川清 小川醫院

滋養強壯劑 レグモン 新滋養强壯劑レグモンは京都醫科大學教授森島博士より有効滋養劑として醫界に紹介せられたるものにして、日本赤十字社病院山下醫學士其他多數知名なる臨床醫家によりて從來外國より輸入せられたるソマトーゼサナトゲンに比して決して劣らざる優秀滋養劑たることを認承せられたるものなり。 レグモンの最も有効なる場合は肺結核、慢性胃腸病、慢性腎臟炎、糖尿病、神經衰弱、虛弱なる小兒、インフルエンザ後の衰弱、脚氣快癒、赤痢後の衰弱、產後の衰弱、其他慢性病にて衰弱せる人、外科手術後衰弱せる人、並に乳汁分泌量の少き人等なり 詳細なる說明書あり、無代郵呈す。全國知名藥店にて販賣す。 定價百瓦入壹圓貳拾錢貳百瓦入貳圓貳拾錢百瓦入四圓五拾錢 發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衞商店

謹告 四月中當店賣買出來高 第一位 不相變御眷顧の賜のと奉深謝候 大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我一郎商店 電話長北 一二四八番 二二五〇番 一四九番 二五一番 二六六番 自宅電話西ノ宮一八二番

漢江遊船 共樂社 西龍山元町四丁目漢江畔電車終點 電話五二八番 社主 富山武盛

名古屋發送 鮮滿行割引運賃▼ 揭題の貨物取扱の爲め明治四十二年以降運賃割引の認可を得取扱致居候相當の經歷を有し居り各位の御高庇に依り逐次扱量の增加を來したるは弊社の光榮とする處にして感謝に不絕候爾後取扱向十分に注意を加へ迅速鄭重に扱料も出精可致候間何卒御指命被成下度奉願候! 名古屋に於ける御取引の取調事項は無料調查御報告可致候間無御遠慮御申附被下度候 名古屋驛前(運送通關取扱業) 合資會社 鮮滿運搬部 電話(長)三三一、三三七 本局五八〇六、二一八〇 電信略號「〇八」

京城府明治町二丁目(本町江戶川橫より入る) 電話三七八番 內科 小兒科 入院隨意(普通特等) 中島醫院 院主 中島貞信

汽車

線名	時刻
京釜線（南行）	[illegible]
同（北行）	[illegible]
湖南線（南行）	[illegible]
同（北行）	[illegible]
關釜連絡	[illegible]
京義線（北行）	[illegible]
同（南行）	[illegible]
京仁線（仁川行）	[illegible]
京元線（北行）	[illegible]
同（南行）	[illegible]

あなたは今朝

ライオン煉歯磨を

お使ひになりましたか？

ライオン煉歯磨は、香が高尚で、口觸が滑で、用法が簡單で、齲齒の原因となる口中酸を完全に中和するばかりでなく、御氣分を爽かにいたします。

△齒科百話（二）

齒痛に就て――齒痛は種々な病氣から起るが、大体に別けて説明すると、一は齒髓炎、他は齒根膜炎の爲めといふ事が出來る。此二つの病氣の特徴は次の如くである。單純な齒髓炎の方は癒るが、齒根膜炎になると仲々困難であるから早く豫防しなければならぬ。

齒髓炎
1、水や湯にしみる。
2、刺す樣に痛むのでひどくなるとどの齒が痛いのか分らなくなる。
3、噛合せても痛くはないが窩の中に何か入ると痛い
4、齒の周りの齒齦の色は變らない。

齒根膜炎
1、水や湯にはしみない。
2、つきん／＼と續けて痛む殊に夜寢てから痛が増す
3、噛み合はせたり何かぶつかると痛む。
4、齒の周りの齒齦の色は赤く腫れあがる。

東京本所區外手町　ライオン齒磨本舖　小林富次郎　支店　大阪……

(934—7)

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第六十五席

船中に於いて勝義が　小『偖て各々は何うして是へお出下すつた。』されば我等に於ては上州箕輪にあつて打揃ひ遊獵に出掛ると世間の話聞けば、藤田權頭殿が彈正に捕はれて笠間の松原に於て磔刑になると承はつて大きに驚き、尊公が國にお在ならば必らず伯父御を助けるに違ひないが、御身が他郷にあつて御存じはなからう、どうか我々が參つて權頭殿をお救ひ申したいと考へ、就ては師に話をすると何とか面倒、是から直ぐに出掛けようと、我々共は師匠に無斷で乘込んで參つた、處が豈圖らんや御身が先へ乘込んで、伯父御を助けんとての働、ソコで我々共一同が太刀先を揃へて斬込、彈正の家來を東西へ追拂つて尊公達をお救ひ申し、誠に快い心持でござる、マア／＼伯父甥ともお怪我がないので何より恐悦に存ずる、是を聞いて小太郎共に喜びました　小『我々共危い處各々方がお出下され無事に切抜けまして、何ともお禮の申しやうもございません』といふ時に神後伊豆が　伊『塚原氏、權頭殿が非常に疲勞をなすつてお在での樣子、手前方へお連れ申しお世話をいたしますから、某と八王子へ御同道なさい　小『其れは千萬忝けない、然らば仰せに從つてお供をいたしませう』とソコで塚原伯父甥を神後が自分の家へ連れ行く事になり、他の人々は別れを告げ上州箕輪へ立歸りました、扨伊豆に於ては權頭小太郎の兩人を連れ、武州多摩郡八王子へ立戻りました、神後此の人は上泉伊勢守の門弟で、神後流劍術の名人で、八王子には長く居たのでその土地で人望もある、自分の家へ塚原伯父甥を匿まひ親切に世話をいたしまする、處が勝義は此邊に長く居て露顯をした節には伊豆へ迷惑を掛けねばならぬ、越後の春日山へ立退けば大丈夫と思ひ、或日のこと伊豆に向つて　小『我々共は越後へ參つて謙信公の幕下へ……賀志摩守を頼みます所存、當地を發足いたします、いや御厄介になつた』といふと伊豆　伊『夫れは至極良い、併し小太郎殿其許は壯健であるゆゑ宜いが權頭殿が大層身體が弱つて居る、御身は一緒に行く事はなるまい、お身だけ先へお出になるが宜い、藤田殿は……少々手當をして身體が宜くなつたら、で、手前が越後へ送り申す』伊『夫れは心して其の許一人先へ行くが宜ろしい　小『左樣なればさういふことにいたします、何分にも權頭の處はお願ひ申す』と呉々も頼んで勝義は八王子を出立した、其の後神後伊豆は……笠間の人數が……つて再び權頭が取返されようとした、是ー遠藤五平次が笠間の頭

壁、城へ立歸りまして彈正左衛門に之を告げましたに依つて如何にも殘念に心得、段々手配をして探しますと餘程遠方へ立退いたと見えて分らない、ソコで先達て斬込んで來た十二三人の奴がある、彼等は何者であらうかと尋ねると上泉伊勢守の門人、塚原の兄弟弟子に違ないとの事、夫から上泉の門弟へ目を注けて居ますする、スルと武州八王子瀧山の城の城代を藤井權兵衞といふ、此方へ彈正左衛門から手を廻して小太郎伯父甥が此邊へ立廻つたら召捕つて下さるやうにと、充分に鼻藥が廻りましたから藤井權兵衞に於ては自分の支配内を段々捜索すると神後伊豆方に塚原伯父甥が居るといふ事が分りました、村山大藏といふ者を討手に向けましたが斯る事とは神後方で知らう筈はございません、スルと一日神後伊豆の玄關へ掛り　頼む／＼………『ドーレ』と取次が出て見ますと身の丈衆に勝れデップリ肥つた大男、朱鞘の蠟刀を帶し深編笠を取つた袴を着けて立つておりまする、取次の者は夫へ手を仕へ　△『何方樣からお越しになりました』と言つたが此侍は何者でございませうか。

旅行中の處歸京　從前の通り診療に從事致し候
内科・小兒科・女科醫　川崎朋子
京城明治町二（電話一五〇四番）

暦

五月六日　九星
舊三月廿六日癸丑
本命八白良納佛滅

▲一白・求職、婚姻、金談、移轉、開業、入學、萬事吉▲八白・頭押に來る事有り新事見合すべし、萬事吉▲九紫・兄弟親族に隙を生じ家業を吉とすること▲二黒・のさけぬ事有り新事は吉、萬事親切にせらるべし▲三碧・思ひがけなき事は吉一切の判事ぬがよし▲四緑・新事は吉一切の事有り新事手に行く事は吉一切見弟知人に間々の事有り新事手の事あり注意のかけ事を禁ず▲五黄・新事手に嵩む事あり新事物に用心せらるべし▲六白・古き寶貨は吉、賣買を愼むべし、大切なる日一言半句も慎むべからず▲七赤・新たに勞を得る日祭り迎で利有女子は一層よろし▲……・名弘金談造船婚禮移轉萬行物に勝の日、日和居に祭り行商

軍隊毛布

露國に送るべき防寒用毛布も革命の爲め途に約定品を引取らず今回不得期節遲れではあるが拂品を大判二枚續き一組代價九十八錢で一般に賣出す希望者は至急ハガキで注文あれ受付順に代金引換便で送る多くならば當低五百以下では買へぬ品なれば賣切れ後は送付せず
東京神田　東京被服用達社

易　含石堂
明治町二丁目　岡村介石

月やくぐすり
每月丸

月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
月經の滯を通じ月經不順に伴ふ子宮血の道、便祕、氣鬱、逆上等の良治す。
又持藥とせば惡血を下し月經異動、子宮病を治す。
藥價　中週分四十錢・一週分七十錢　二週分壹圓三十錢　其他
本舖　大阪東區　丹平商會藥房

ハカリ印の
ヘブリン丸が
かぜ　ねつの
最良藥として專ら賞用さるゝは
配劑の妙を極め其効驗的確なるに因る

りん病
ばい毒

本藥は輕病人、大にして急性慢性淋病及び各期梅毒性の諸疾患に、用ゐて些の副作用なく、最も安全迅速に治療の目的を遂す
淋病特効藥　一週分金貳圓五十錢
梅毒特効藥　一週分金貳圓二十錢

ルーデサック
男用一打四拾錢　特製六拾錢
女用一個特製七十錢　卵形珍一個廿五錢
其他各種（送料要）

京城永樂町三丁目交番北
東京ドラッグ商會京城本部

男の生殖器病

專賣特許眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦神經衰弱、慢性淋病等は容易に治す二大醫學博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃の如しハガキで申込めば非賣品圖入説明書を無代封送す
來所者には醫院部にて懇切説明す
東京神田かぢ町五　東京眞空療法研究所
電話神田七二二番

毎夕一杯の
赤玉ポートワイン
美味滋養の葡萄酒
一日の疲勞を回復す‼

ヒコーキ印粉劑消火器
宮衙、銀行、會社、學校、家庭に必ず備へ付けらるべき消火器‼
定價一本金二圓　送料一本金十二錢
大發賣所
京城太平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番　電話構内一八番

京城日報

五月五日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

第五版

仁川 [illegible] 東

▲當限寄付 二十六圓六十六錢 ▲中限寄付 ▲先限寄付 [illegible]

[illegible] 合ひ結局一錢と打止めたり

平均値段 [illegible]

本紙定價 一部金一錢五厘 一ケ月金五十五錢 [illegible]

廣告料金 [illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 振替口座京城二〇〇番

支那政界瞥見(上)

次期大總統選擧と各派

○支那大總統の總選擧も、愈々茲一箇月後と接近し來りしも、安徽と云ひ、討伐と云ひ、政海は依然混沌として波浪の何時靜まるべきを知らず、此の間各派は落々として選擧準備を急ぎつゝあるものゝ如し。段總理が漢口出張の如きも、次期の大總統選擧を、臨時參議院にて代行せしめんとする下相談が、果して其主なる目的にありしとすれば、段派は既に其準備を大に進め居るものと見て可なるべし。兎に角先づ大總統の選擧に當り、大暗闘を演ずべきは、即ち直隷派と、安徽派なるは、敢て疑を要せざるべし。今大體に於て各派を一瞥すれば、安徽派と稱するも北洋文派の元老たる徐世昌氏を頭目とせる一派には、交通系の策士曹汝霖、陸宗輿氏等の幕僚あり。更らに所謂段一派なる武斷系は、段總理を頭目とし、幕僚には段芝貴、靳雲鵬、徐樹錚、張作霖、倪嗣沖等あり。直隷派は馮總統を以て頭目とし、王士珍、曹錕、李純、陳光遠、王占元等の帷幄の士あり。更らに之等に對抗しては、岑春煊を元老とし、陸榮廷(或は死去せりとも傳へらる)孫洪伊、李烈鈞等の民黨派と、孫逸仙を頭目とする革命派の所謂南方派等あり。次期の大總統は、今日の處より見れば、必ずや、其何れかより選出せられざるべからざるが、差し當り先づ徐世昌か、段祺瑞か、馮國璋の三名中より、其の一人の當選を見るは明かなるが如にして、從て其の政爭暗闘も、日を逐ふて激烈を極むに至るべし。

○徐世昌は昨年、張勳復辟當時に於て、關係ありたりとの世評ありて、世間より惡評の衝となりし以來、自ら政界の活動を避け居たるが如き觀あるも、而も生涯を閑日月に送る丈けの心底には非ざるものゝ如く、好機會に遭遇せば、再び政界の立役者たらんとするの心算の、彼の胸底に存するは、何人も能く知る處也。而して次期の大總統をして、徐世昌たらしめんか、總統の人格に於ては、追の袁世凱も師事せし程なれば、萬事に付けて充分の眞目あるは勿論、地方督軍連も、陰には惡評せんも、正面より不賛成を唱ふるものは、先づ無かるべしと見るを當然とすべし。段祺瑞にしても、彼の腦中には無論大總統の椅子に憧憬しつゝあるは、當然なるも、今段にして自ら此の野心を暴露せんか、反對の火の手は各所に烽起すべく、張作霖、徐樹錚等の力にては到底壓し切れざるは明白なれば、徹底なる彼は他に其將來を慮ばかるの策を講ずるや明なり。

鮮滿在鄕軍人會に望む(七)

帝國在鄕軍人會理事 永沼中將講演

青年の思想はどうなつても構はんと忽諸に附して置いても良いものであらうか。如何に新附の植民地とはいへ、苟も將來日本の運命を双肩に擔つて立たねばならぬ第二の國民たる青年を自然に任せて打捨て、置いて宜いものであらうか。大いに考へねばならぬ。滿洲の各地では日本人の僅かの集團地でも學校の先生が中心となつて、卒業生若くは生徒の大きなもの位を集めて人數は少いが兎に角青年團の形の生れかゝつて居る所もある。所が足一歩鴨綠江を渡つて朝鮮に入ると、其の氣配もないと云ふは實に驚く。内地の青年團は昨今非常な勢である。近く五月には東京に

△全國青年大會が催される筈であるが。自分も其の方に若干關係をして居るから大會に間に合ふ樣に歸京したいが、或は巡の都合で間に合はぬかも知れない。此の青年團の發達が間接に在鄕軍人會を刺激して、軍人會其のものゝ發達を促しつゝあるのであるが朝鮮では丸で考へが至つて居らない。御參考の爲内地に於ける青年團の狀況を申述べて見よう。御承知の如く、從來内地には各地に青年會なるものが設立され、地方の公共事業に携はる一つの團體となつて居つた。例へば道路が破れた、橋が破れたと云ふ樣な場合には青年會員が其の修理をやると云ふ風に、主として公共事業に從ひ若干の報酬を得て、之を基金と[illegible]居つたものである。[illegible]年齢は小さいのは

△十四五歳から大きいのは四五十歳に至ると云ふ譯で、雜然たるものであつた。分子が餘りに雜然たるものであるから之を整理せんが爲めに段々研究の歩がすゝめられ、文部、内務の兩省に於て種々攻究の結果、兩大臣から訓令が出て、從來の青年會は、名稱を青年團と改められ、事業團體であつたのが、純粹の修養を主とする團體と目的が變つた。而して町村長が青年團の理事長となり、郡に於ては郡長が、理事長、縣に於ては知事が理事長と云ふ風に、行政の系統を追ひ、最後は内務省の管掌となり、又修養は教育方面に關係があるので、直接指導の任に當るのは、小學校の教師……教師は一方に忙しい本職があるけれども、暇を割いて犧牲的に

△青年團を指導して居る仕事としては或は補習學校にやつたり、其の他色々な事を行つて居るが、小學校教師が熱心に盡力して居る。郡に於ては郡視學、縣に於ては縣視學の人々が教育方面の仕事を擔當し、此の最後は文部省に行く。斯く内務文部兩省の系統を追うて居るので。組織の改正されたのは近頃の事であるが著しき發達を遂げ、仕事の成績は頗る擧がつて居る。

高柳將軍の露國談を讀みて

槐翁

○組日來『露國の擾亂と戰局の前途』と題して、本紙上に揭載せる高柳少將の露國談を讀むに及んで、吾人の感慨に禁へざるものがある。曰く、『露國失敗の原因は國民を指導し、國民を教育することを忘れたるに在り』と。露國今次の瓦解には、他にも種々の原因があるであらうが、國民教育を忘れたることが、その原因たることは軍の言に依つて明かである。吾人は、我國民教養の忽諸に付すべからざるを痛切に感ずるものである。

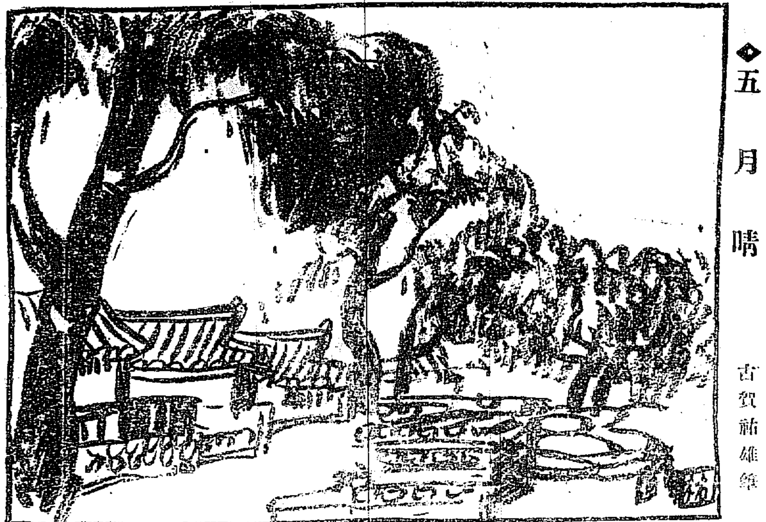
○蘇峰先生も曾て言はれたことがある。曰く『七千餘萬の人間が、一個の日本國となることである。此七千餘萬の小日本國が組織せられて、茲に大日本國となるのである。宛も水晶を如何に細かく碎くも、八角の結晶體であるが如く、日本帝國を府縣に割り、郡に割り、町村に割り、家に割り、遂に個人に割るも、何處迄も日本國の雛形は、儼然として存する樣にあらねばならぬ』と。吾人は我國民教養の必要を、益々感ぜずには居られない。

○吾人は、今日の學校教育を見て長嘆息を禁じない。學問智識の進んで居るその割合に、出來上る所の人物は、何れも意志の力の薄弱な我帝國々民としては、誠に恥かしい樣なものばかりである。彼等は一寸勉強でもすると、直ぐ衰弱に陷るといふやうな有樣で、甚だしきに至りては神經衰弱は文明病のやうに心得て居るから情ない風である。

○學問智識の必要なことは、申す迄もないが、然し乍ら智識や學問ばかりで、此世に處することの出來るものと思へば、それこそ大なる間違である。見よ學校に於て秀才の名を博したものも、一度學校を出で、社會の滔々たる波瀾の眞只中に漕ぎ出すが最後、意志の薄弱なものは、遂には荒波に禍されて、沒後の悲慘を見るのが、今日の青年であるとしたならば、吾人は果して國家の前途を祝福することが出來るであらうか。

○凡そ個人としても國民としても、何が一番大切であるかと云へば、意志の力を涵養せしむることである。かくて國民の各個が、有効に、且つ有力なる發達をなし、一國が見ること一家の如く、我意志の精神に適恰し、堅固不動の國民となるならば、外敵何ぞ恐るゝにたらんやである。それにつけても思ふは、吾人の教育法である。古の教育法は意志の力を強めることに全力を注いだもので、古來驚天動地の働をした英雄豪傑は、何れも此陶冶を受けて、大成したるものでないものはない。

○世界は今や動亂の眞最中である。幸に我帝國は、戰亂の局外に超脫せりと雖も、決して油斷すべき時ではない。吾人は速に我國民教育の根本義を確立し、混沌たる思想界に光明を與へ、國家の目的に適恰すべき沈勇にして膽力あり、死生の際に於ても、靜かに應變臨機の智を運らす餘裕ある國民を養成することに努めねばならぬ。



◆五月晴 古賀結雄筆

愛劍趣味(二)

片岡鶴泉

先づ各國に於ける石器時代より銅鐵時代に移り進んで鐵製期に入り始めて日本刀の發明に及ぼさゞるを得ず然るに刀身のみの研究さへ容易の歲月を以ては盡し難く況んや外裝の全體に於てをや是に於てか直截簡明に其の要を摘載するの外なからん反說刀劍趣味の一片たる鍔の例を舉ぐれば外裝の一片たる鍔の如きも甲冑師や刀工の自作せる時代は暫らく措き鍔工專門時代となりては最も精巧を極め鐵や赤銅又は眞鍮の下地に名畫工の下繪なる人物、山水、動植物を彫刻し或は金銀象嵌や透し彫りの細微に至るまで金工彫刻としての美術たるは勿論一面に於ては繪畫圖案としての美術を發揮し且つ鍔自體の形狀に於てすら時代の推移を知り趣味の多樣を示せるにあらずや從つて笄、小柄、縁頭の類も亦た同樣なり彼の鞘の如きも塗物中名種の異彩を放ちたりしが維新後他の器物に應用することさへ出來ずして其の儘杜絕せるは甚だ遺憾ならずや彼の伊賀越の仇討にて名高き河合正宗を初め廢刀後外國へ放賣せられたる日本刀は巳に數萬本に鍔以下の小道具は日本在來品の半ばは以上外人に買收せられたる事實あり最初外人は鍔以下の小道具を多く買集せし目的は圖案に應用するとか染物屋の型にすると云ふ風にて重もに職業上の熱心に因せしが今や進んで眞に高尚なる美術趣味の鼓吹となり室内や卓上の裝飾に用ひられ珍品の有無は以て人格に影響せんとする傾向ありと云ふ刀身の如きも日本刀以上の名劍を燒き出さゞれば已まざるの勢なりとは驚歎の外なし倫敦のジョリー氏が著書中に鮫皮の說明だけに何百頁を費したる譯あるの外ケンブリッチ大學教授のズタスン氏鍔の比較研究に於ても又著名なる伯林のヤコービー氏は多大の名品を所藏し一昨年日本にては左程珍重もせられざる赤坂鍔の初代を探し呉れと賴み越したるを耳にせり之れ正に網羅的蒐集の方針と推せらる斯る事態を見聞するに於ては吾人大和民族として實に赤面せざるを得ず余は秘かに思ふ日本全體の國民家庭内に大小刀の一腰も絕無とならん秋は之れ甚だ心細き現象なり抑も余が刀劍の保存を絕叫して益々研鑚の苦を重ぬる所以のもの寧ろ吾人の義務たるを信ずればなり

日報詩壇

微雪千露　安東　犂雲

繽紛雪白漢陽城。何管寒威鎖客情。天地[illegible]風曉來靜。江山鏤玉[illegible]前頭。庭前古木花新發。[illegible]小橋匪不生。須臾放光暄日影。忽[illegible]間降含宅雞鳴。

評曰、奇采橫生、以畫法行詩法者

地方金融組合登記公告

廣州地方金融組合登記事項變更 組合長李龍鎬及監事李萬鍾ハ大正七年四月二十日辭任シ左記者ハ同日監事ニ就任セリ

廣州郡中垈面石村里九拾番地 尹和贊

右大正七年五月二日登記

京城地方法院廣州出張所

一枕木五千八百五拾武本

右購買ス詳細ハ五月六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

北海材荷着案内

一鹽地、栓、楢、櫻、桂、朽、
一栓板機械挽 [illegible]
椅子卓子木取販賣

京城黄金町一丁目 和洋家具材 ロクロ用材 床廻用材 本明雜木店 電話三一七五番

一白絞油牛武噸

右購買ス詳細ハ五月六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

貴紳士用實用懷中時計大安賣

◎十八金側片硝子 參拾參圓より 銀側懷中時計 參百圓まで

其他貴金屬裝身具一式有之候 地方御注文は代金引替小包郵便にて御送附申上候間御用命願上候

京城本町武丁目 村木時計舖 電話四七三番 振替京城三一九〇

ステツキもあります

◎編輯總裁 大隈侯爵 ◎執筆者 當代之碩學大家五百四十名 (製本既成・即時配本)

日本百科大辭典 第九卷發賣

■定價金拾五圓■特價金拾貳圓 (送料)(市内無料・内地五十四錢・滿・鮮・臺・樺・支那・七十錢)

▲日本百科大辭典完成會編纂の本書は豫定通り第九卷を完成し左記兩所にて購讀者各位の需に應ずる事となり目下順次配本しつゝあり御入用の諸君は即刻御申込あらん事を希望す

申込所 東京神田 株式會社 三省堂(振替東京三一五五五) 東京牛込新小川町 日本百科大辭典普及會(振替東京三五〇〇〇)

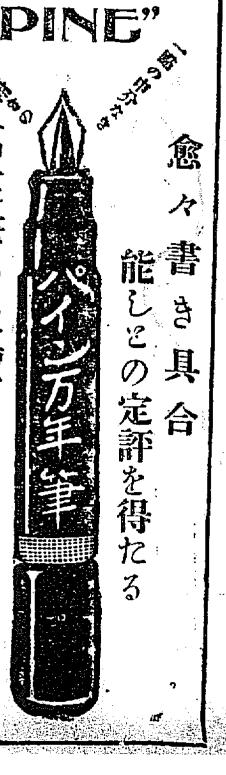
京城府南大門通一丁目十八番地

大同生命保險株式會社京城支部

電話長六七一番 振替京城三三三九番

大日本政府登錄商標

"PINE"



愈々書き具合 能しとの定評を得たる

萬年筆の眞價は パインを除き他に知るべからず

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

特許既顧防破裝置附
縲出式萬年筆 金六圓八十錢
押出式紳士向 金五圓三十錢
インキ止式婦人用 金三圓八十錢
インキ止式短軸向 金四圓九十錢
インキ止式實用向 金三圓八十錢
パイン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用) 金一圓九十五錢

發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城出張所開設

弊社儀今般左記京城出張所ヲ設ケ營業開始致候間何卒特別ノ御眷顧ヲ賜ハリ度奉懇願候 (京城支店設置ニ關シテハ目下認可申請手續中)

京都市今出川通智惠光院西入

東亞蠶絲株式會社

營業科目

桑苗、桑種子
蠶種各種
繭及生絲
蠶具各種

京城出張所 龍山驛前
京城蠶種製造所 往十里
蜜陽蠶種製造所 驛前
春川蠶種製造所 邑外

○日本品輸入禁止解除

英國政府にては左記日本品の輸入禁止を解除せり(倫敦電報)
釦、刷毛、紙紐、管、綿織物、玩具以外の小冊物及び遊戯道具、瓦斯マントル、手袋、帽子、綿絲

○タイムスと我新外相

タイムスは論じて曰く後藤新外相の陳述は大に吾人の意を得たり、外相はこの陳述に依り極東其他世界到る處に於て故意に獨逸の流布したる虛說誹謗に對し最も有效なる答辯を與へたり殊に後藤男の外相就任に就き日本の態度に變化を見るに至らんとの虛說に對しては非常に憤慨の情を漏せり、日本は吾人が戰捷を贏ち得るまで何處迄も聯合國と提携して其約を果すべしと誓へり　又新外相は日本が露國に對し非常の好意を有し同國が一日も早く其國際的地位を回復せん事を衷心より希望しつゝあるを切言せり他の理由は暫らく措き日本は其の存在其物のために斯く說ふは當然の事なるべし(倫敦電報)

○英航空將校の名譽

英國ローヤール航空隊附將校二名は今回ヴィクトリヤ十字勳章を授けられたり其の內一名は敵機十九臺を攻擊破壞したるものにて他の一名は敵機八臺の包圍攻擊を受け我機が火を失したるに拘らず能く偵察將校をして機關銃を發せしめ得るが如く機を操縱し自身の危險を忘れて偵察將校を救助したるものなりと(倫敦電報)

○浦鹽の戰鬪猛烈

浦鹽來電に依れば過激派、反過激派の戰鬪猛烈にて支那人九名日本人六名英人二名負傷し火藥庫と砲臺は日本軍保護せるを以て此の方面は危險無しと(北京特電)

○鹽稅收入差押抗議

廣東にては更に領事團の抗議を無視し鹽稅收入三分の一をも差押へたるより銀行團は關係國公使に抗議提出を依賴せり(北京特電)

○曹張兩氏の電請

曹錕、張敬堯兩氏は三日政府に對し張懷芝軍は潰亂して全然戰鬪力を失ひたるを以て速に奉天軍をして第一旅軍を助けしめ部陽を防ぎ度しと電請せり(北京特電)

○總統令公布

國務院秘書長張志譚國務院參議に任じ、法制局長方樞をして國務院秘書長代理を兼ねしむる旨二日附大總統令にて公布さる(北京特電)

○梁士詒氏受勳

來朝中の中日實業會社總裁梁士詒氏は三日參內　天皇陛下に拜謁仰せ附られたり尙同氏が從來日支兩國の實業に盡力せるの功を思召され今回特に勳二等瑞寶章を下賜せられたり(東京特電)

○釜山寄港反對

横斷航路を釜山に寄航せしめんとする釜山側の運動に對し北鮮三港は横斷航路の意義を沒却するものとして極力反對し居れり(淸津特電)

○羅南旅團演習

羅南旅團は大村少將統率の下に四日より十三日迄明川地方にて旅團幹部演習を擧行す(淸津特電)

○連絡船缺航

四日夜入港すべき對馬丸は下關を發したるも風波の爲め引還し貨客は五日朝入港すべき新羅丸に移乘したり(釜山特電)

○永沼中將講演

永沼中將は馬山より四日午後二時二十分來釜玉木支部長、野津分隊長在鄕軍人等の出迎を受け鳴戶旅館に投宿六時より釜山座にて講演を爲せり(釜山特電)

◉日滿貨物制限

日滿連絡に依る內地發送の貨物は當分の內左の如く制限せらるゝと

◉米國の新施設

戰爭遂行手段を統一せんとする傾向を生じ經濟上の施設も亦政府保護の色彩を益[illegible]至れり同法に依れば組合の資本金を五億弗とし外に三十億弗の債券[illegible]關係の事業に從事する會社及び個人に五箇年以內の貸付をなす[illegible]割引步合に依り一分高の割合にて金融組合の發行する債券擔保[illegible]手形を割引す[illegible]

となれり

▲朝鮮經由　急行取扱は全部發送停止普通便は滿洲里著除き每日三十噸三千三百才までの貨物(生果を除く)但し一個の重量八十一キログラム九以上の箱八、棒寸に對しては東清鐵道國內無蓋車に限り之を取扱ふ

▲浦鹽經由　浦鹽以東著のものは普通便急行便とも全部發送停止浦鹽著のものは兩取扱とも數量に制限なく之を取扱ふ

◉公設市場

(四)婦人の虛榮を去れ

公設市場建設に際し生ずべき障碍の第三として需要者に附隨する障碍あり旣に公設市場の有益なるは論なく商人之を利用せんと欲するも疑なき所なれども案外に種々の事故の爲めに之を爲し得ざるもの少からず

▲天津市場の失敗は其の原因茲にありしと聞く今二三の事由を記せんに先づ婦人の虛榮心なるものにて假令ば市場に出入する婦人は不思議なる所に意地を張る裝に心を惱まし他人に劣るを無上の恥と心得ぬるが市場に進かざるは好む習癖あり又は求めたる大根牛蒡の類を自ら持參するを以て人格を傷くるが如くに感じ御用聞に命ずるを得意とするあり或は市場は下級民のみ集合する場所と誤りて之を利用するを憚るあり或は朝寢、化粧等に時間を浪費し市場利用の機會を逸するあり此等は悉く婦人の虛榮が招く

▲惡障碍と知るべし虛榮と市場との關係は何等交涉なきが如くにして而かも密接なる關係を有す市場は素朴堅實の風と共に興り奢侈、輕薄の流行と共に衰ふ、公設市場の榮枯盛衰は多く婦人に在りと謂ふも可なり。次は住居の不完全なる問題あり市場を利用して最も利益を享くるものは中流以下たるべし而も家屋の不完全なるが爲め容易に市場を利用し得ざる事由なきに非ず、京城に於ける住居は多く借家にして遮熱、防寒の設備不完全なるのみならず盜賊に對する防備の如きは全然顧みられず僅かに雨露を凌ぎ得るのみ試みに京城府內に於ける各種の

▲家屋を比較するに建築材料の點に於て內地人の借家程安價にして薄弱なるものありや斯くの如くなれば其の家屋の居住者は意を强うして外出し市場を利用する能ざるは尤もの次第と謂ふべし某警察官曾つて語つて曰く京城に空巢覗ひの跋扈しく而かも年々增加の傾向あるは內地人家屋の粗惡なるが爲め貧困者をして空巢覗ひたらしむる結果に外ならずと然り現在の如き防備不完全なる家屋に住居する者は安んじて外出するを得ず必ず空巢覗の侵入を顧慮せざるを得ざる也現在として中流以下の家庭が

▲市場の有利なるを知らざるに非ず茲に出入し得べき機會を常に求めつゝあれども却つて御用聞き又は行商の來れるを待てる所以のもの家屋の構造より來る關係の然らしむる所尠からず其の點は市場利用上の有力なる障碍たるべきものなれども急速には又奈何ともすべき詮なきが如し乃ち良方策あらば大方の教示を仰がんと欲するものなり(完)

大阪財界便り

△滯貨益々激增　鐵道の滯貨は昨年八九月頃に於て約五六十萬噸位なるが漸次累增し昨年來より本年初頭に於ては八九十萬噸を算するに至り最近に於ては東管二十萬七千四十八噸中管十六萬八千九百二十六噸西管二十三萬千九百七噸九管十一萬三千八百三十五噸北管四十萬千六百五十七噸にして貨に合計百十四萬七千八百九十七噸の滯貨を示し居れり鐵道院にても滯貨一掃に銳意努力し居れるも出貨の激增は容易に好結を擧ぐる事能はず目今にては全く手の付け樣なき狀態にあるを以て一時大貨物取扱制限を加へるが如き方策を講ぜられたる次第なれば目前の狀態よりすれば滯貨は尙累增することありとするも容易に之れが減少を望めざる情勢にあるもの〻如し

△三品浮動と織物　綿布類は生絲の好況と相俟つて海外向旺盛空前の記錄を續出しつゝあるが一方綿織物類は三品相場亂調の影響を被りて伸惱み頗る閑散の狀となり休日前廿日の三品相場大暴落にも案外底堅にて下向き僅かに五十錢內外に過ぎざりしが昨廿二日は米棉一圓五十錢高の硬材料に三品相場は八九圓方引返し更に今廿三日は米棉七十錢の安報に脆くも前場十圓方の暴落を演ずるなど一高一低亂調を極め居るを以て織物界にては三品の浮動相場に追隨して相場を變動せしむる場は各產地は勿論一般顧客に波及する影響大なるが故に織物業者の意嚮は自衞の爲め三品相場の浮動を度外に置き穩健なる步調を持續すると傾き一般に三品相場を警戒するの狀盛んなりと

△綿絲輸出減少　紡績聯合會調査に係る四月中旬の綿絲輸出高九千九百七十梱半にして前月中旬に比し約五割四千九百十六梱を減少し又本年一月以降の累計輸出高は十一萬三百九梱半にして昨年同期に比し六萬四千九百廿一梱半を減少し綿絲市場に影響を及ぼしたり

△棉花羊毛自給策　臨時產業調査會は本邦工業原料の自給に關し棉花及び羊毛の自給策を講ぜんとし特に印棉は爲替關係不圓滑なると又關稅賦課問題などの起らんとする傾向もあり本邦紡績業に對する影響少からざるを以て印棉の代用棉を支那地方に求めんとし又羊毛は內地產出獎勵に力めつゝあるも尙支那の羊毛を獎勵して產額を增加せしむるは日支兩國の有利なるを以て產業調査會は種々調査に力め其有望なるを認め支那政府當局と交涉し日支合辦にて先づ農產畜產の兩試驗場を設置し棉栽培並に綿羊飼畜の研究を爲し其成績の結果に依り大規模の栽培並に飼畜を實施すべく目下計畫中なりと(大阪支局)

◉貨物運賃引上

滿鐵京城管理局にては大貨物特定賃金表中牛骨、牛皮、牛脂、砂糖、麥粉等に關する改正を爲し五月十五日より實施することゝなりたるが之が爲め牛骨、牛脂、牛皮等は從來に比し朝鮮線三割院線二割五分砂糖は百五斤以內一個に就き朝鮮線五錢院線五錢の何れも値上げとなれり

◉東拓農監改正

東拓會社にては豫て社用地に於ける鮮人小作人取締の必要上各地に農監なる者を置きたるが今や其數一千百餘名に達し每月一名に對し十圓內外の手當を支給せるも農監中には農民の批難攻擊を受くる者又は不正行爲をなし或は公平を缺く等會社の方針と背馳し農政上支障を生ずること鮮なからざるを以て同社は今回斯る弊害を一掃せん爲め一大整理を加へて六百名に減し手當も一箇月十五圓內外に增加し又今後內地人農監を設け同社移民を之れに充てんとの計畫ありて各出張所は目下其人選中也と

◉東亞興業社長　荒井賢太郎氏に決定

最近資本金を一千萬圓に增加し支那に於て活動せんとする東亞興業株式會社の社長には前度支部長官上院議員荒井賢太郎氏就任する事となれる由

◉平安丸の積荷

二十六日夜淸津港發浦鹽に向ひたる朝鮮汽船平安丸は釜山、元山より米雜貨等三千八百三十一箇を積載せるが淸津に於ては輸入禁止品中除外例たる米醬油並に輸入許可證ある粗布類若干を積載出港せり因に同地より浦鹽行貨物は非常に多數なるも輸入許可證なき爲め其大部は積載方を拒絕せりと

◉京畿砂防工事補助

京畿道にては五月三日附道令を以て樹苗圃及び砂防工事補助規程を發布せるが同規程に依れば管內面其他の公共團體の事業として荒廢山野の砂防工事を施行し又は造林の目的を以て苗圃の經營を爲さんとするものは本規程に依り補助金を下附する事ある可しとせり而して補助金額は砂防工事にありては延長一間に就き四錢以內、苗圃に在りては一町步に付き百圓以內にて之を定むるものにして右砂防工事にして特に巨額の經費を要するものは此の限りに非ずと爲せり尙補助金の交付を受けんとするものは其の申請書を事業施行の前年十月末日迄に事業地の所轄府郡に提出す可しと

◉北海道博鐵道割引

本年八月一日より九月十九日迄札幌及び小樽區に於て開道五十年記念北海道博覽會開設に付き右出品人に對し鐵道は所定の割引證引換に左記割引賃金を以て往復乘車船券を發賣すべしと

朝鮮線　普通賃金の三割引
鐵道院線　[illegible]函館間　普通賃金三割引　函館若松間　同五割引

▲發賣區間　釜山、大邱、金泉、大田、鳥致院、天安、水原、永登浦、龍山、南大門、西大門、開城、沙里院、平壤、新安州、新義州、馬山、論山、江景、裡里、金堤、井邑、松汀里、木浦、群山、仁川、元山、鎭南浦より院線札幌又は中央小樽驛行發賣期間は五月一日より九月十五日迄通用期間は發賣の日より十月二十日迄

▲出品物の割引　所定の荷票を貼付したる出品物に對しては大貨物扱に限り又通運賃を左の如く割引すと
朝鮮線　三割引(官公衙の發送に限る)
鐵道院線　下關門司間　三割引(同)　函館驛間　五割引(同上)

▲割引區間　朝鮮線各驛と院線札幌手宮驛との相互間

▲割引期間　五月一日より十月三十日迄朝鮮線を經由して滿洲線連絡驛と院線札幌手宮驛との相互間に發著する出品物に對しても前各項に依り運賃割引の取扱をなす

◉開城專賣所長新任

鹿兒島縣技師伊森賢三氏は今回朝鮮總督府技師(五等)に任ぜられ度支部專賣課開城出張所長を命ぜられたり

◉大塚參事官歸京延期

東京出張中の大塚參事官は法令審議其他の要件の爲め三日附を以て尙六十日間出張を命ぜられたり

◉醫師試驗合格者發表

總務總監部に於て施行されし醫師試驗第一部合格者は四日發表されたるが合格者番號左の如し
一番二番三番四番五番八番九番十番十二番十三番十五番十六番十七番十八番十九番廿番廿二番廿三番二十六番二十九番三十三番卅七番四十二番(以上廿三名)

◉朝鮮出版社

朝鮮新聞記者伊藤卯三郎小野久太郎兩氏は社務の餘暇を以て鮮文の著述出版を爲すべく朝鮮出版社を起せるが目下某貴族の委囑を受け朝鮮國民讀本編纂中也と

人の消息

▲太田黑重五郎氏(東京芝浦製作所長)　四日夜入京龍尾旅館へ
▲松井房治郎氏(元山稅關長)　同上朝鮮ホテルへ
▲岡本當三郎氏(太平生命專務)　五日朝入京の筈

◉內地郵便物遲著

五日朝釜山へ入港すべき關釜聯絡船は風波の爲めに缺航したるに依て內地郵便物は一日の遲著を見るべし

◉持地長官出發期

北鮮へ出張を命ぜられたる持地遞信局長官は八日若くば九日頃出發の豫定なりと

◉兩參謀長歸任

參謀長會議の爲東上中の市川駐劄軍參謀長及び岡本師團參謀長は四日午後八時五十分龍山著列車にて歸任せり

百鬼百種

奇言奇行で何處へ引つ張り出しても大喝采を得る德川初代の奇傑大久保彥左衞門君の末孫は頓と世間に知れて居ないが▲何でも其後裔に當る家族は三州へ隱居をして何か商賣をやつて居る相なが彥左君の墓は東京の芝にあつて著用の鎧や兜なども あるとか▲而して講談などでは駿河臺は錦小路に住んで居たと云ふが其下屋敷は今の雜司ケ谷の吉川男の別邸の處であつて茶室なども殘つて居ると▲彥左衞門君と云へば政界の惑星大正の彥左衞門と稱せらるゝ三浦觀樹將軍▲丁度外相更迭後二日目京都で西園寺侯を訪問し三時間許り長談した▲歸途を要した新聞記者連は早速將軍を捕へて質問に及んだ▲斯う云ふ事には馴れ切つて居る將軍心得たりと「ホ、『最う知つて居るかい飛耳張目も茲に至つて恐るべしだね』と先づ驚いた態を見せ▲『直ぐ書て貰つては困る吾輩が立出して二三日經つたら勝手に書て呉れ給へ』と最眞面目で記者連を罠にかけ▲記者連の質問に對して『ウ、大概其處の邊だ』と茶目り『後繼內閣の下相談だ』と底を割つた風をする▲記者連得たりと先を爭ふて踉らんとするを見て大きな舌をペロリ▲『オイ諸君先刻からの話は皆噓だ〳〵全く君等に一杯食はしたのだ今度は眞實にビールでも飮んで歸つて呉れ給へ』▲で一同呆れて返す言葉もなかつたとは彥左君でなければやれぬ藝當

◉新宿の火災

[illegible]

◉春季鐵道野球大會

は再擧を許さる(東京特電)
三日午後釜山入港[illegible]

文藝倶樂部

新裝せる　五月號

口繪　◆菖蒲咲く頃…八幡白帆　◆美人寫眞は天下の粹を蒐む

猫婆(半七捕物帳後篇五)…岡本綺堂

世間話　▲魚河岸の引越し…端午と三社祭り　▲[illegible]…伯爵金魚　▲[illegible]…ボロイ大阪床屋　▲[illegible]…若葉青葉心中時　▲[illegible]…東京と珍商賣　▲[illegible]…變る名所と名物

浦浪の月(小說)…碧瑠璃園

奇聞情話笑談　物代りの蛇…なさけのみなと　稻荷屋の心中…島原の一夜　六本木の馬…越後女替態鑑　勝子の幽靈…網野の里より　十一の女教師…筑前古木ローマンス

六代目の助六(芝居見たまゝ)…鈴木春浦

演藝界　演藝當座帳…岡鬼太郎　菊之丞の名…坂本生　御花見芝居評判…山本狹舟　いかものオペラ…山野鳥平　吉右衞門評…通話會　大阪新家笑の爆發…忠兵衞　演藝寫眞…土木文雄

講談　髮結新三…悟道軒圓玉

花柳界　▼駒絵小說 男らしい男…つのくにや　俺は藝者にや惚れぬ…高橋迎月　料理屋の姐さん…柳亭主人　花柳界調子笛…急雨生　小說 やつこ蛇の目…吉丁字

講談　雨夜の品定め(彥左衞門一代記の內)…伯知

相撲　五月場所…江口來月　橫綱勸進帳…本田朧月

改正定價卅五錢　郵稅二錢半　東京本町　博文館　振替東京二四〇番

德富健次郎著
死の蔭に
二十版發行　別製 一圓　廉價　送料八錢
讀者の聲として『死の蔭に』の廉價なる本を造りて廣く購讀者の求めに應ぜしめよとの投書頻々として來る因て今般之を發行致しました。
東京日本橋區西河岸十五　大江書房發行　振替口座東京三一九四六
賣捌　京城本町[illegible]　大阪屋號

各種鑛物分析依賴　金銀精製に應ず　新發見鑛區買入
(詳細定價表發行す)
京城旭町一丁目七　中村分析所　電話一壹一七

眼鏡專門
△弊堂特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强
京城南大門通二丁目二一番地　宮川大學堂　電話二九五九番　振替京城壹貳九番
(眼鏡製造工場子弟入用)

左官賃金値上廣告
今般物價騰貴に件ひ組合會議決議の上五月一日より左官賃金左の通り相定候也
一日賃金　金二圓二十錢也
大正七年五月一日
京城左官業組合　組合長　林喜太郎

▲双眼鏡▼　◎十五形六枚目金十二圓　◎十三形六枚目金二十一圓　送料[illegible]外二十錢　石偕少[illegible]　京城太平通[illegible]一八番　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

最新刊　動物學提要　朝鮮地理　現代佛教研究　[illegible]

京日案內

中古ミシン買入　魔法瓶取替　高木旅行用具店　朝鮮語科　英語科　恩給年金　吉田屋　江州屋本店　[illegible]

◉暴風警報(四日午後十時發)　[illegible]

[illegible]を一變して漸次中央政府に全權[illegible]日愈々大統領の裁可公布を見るに[illegible]
運用せ[illegible]（二）資本金及び債券發行額の二分に相當する金額を以て[illegible]（四）聯邦準備銀行は普通商業手形[illegible]

◎曹洞宗別院（若草町）五日[illegible]
[illegible]損害二十餘萬圓[illegible]に對し其の筋にて[illegible]

中央停車場問題

◆中央驛の形にしたい（上）

停車場に線路を直角に入れば橋を渡る必要がない

景福宮內總督府廳舍新營主任總督府技師　國枝博氏談

南大門停車場も愈改築さるゝ事になつたさうであるが體裁の上からも亦便利になると云ふ點からも誠に喜ばしい事であるが同時に改築するならば思切つて完全なるもの即ち規模の大なる京城の玄關として恥かしからぬ立派なものを建てゝ欲しいと思ふ

◆永久的建物は 現在を標準として設計しては間違つて居る尠くも三十年五十年の後の事を考へて建てなければならぬのである停車場は通過驛と中央驛との二種に區別されてあるが歐米大都會の停車場は皆中央停車場が多い然るに日本には中央停車場が一つも無い東京の如き世界有數の大都會ですら東京驛は

◆通過驛の形で ある之れは孰れに起因するか知らぬが多分敷地又は豫算等の關係であらうと思ふ京城の如きは理想としては中央停車場の形にしたいものである中央停車場は必ずしも終點で無くても出來るもので京城は釜山、安東間の中間驛であるけれども中央停車場の式にする事が出來ると思ふ殊に仁川行元山行などは京城が起點となつて居る

◆中央停車場に なれば停車場に線路が直角に入込み從つてプラットホームが停車場に幾通りも出來るのである南大門停車場なれば龍山を背にして西大門の方に向つて停車場を造る譯で驛の後ろへは例へば釜山行、安東行、元山行、仁川行等のプラットホームが直角に列を作つて出來る故に何處行の列車に乘るにも橋を渡つて

◆線路を越す必要はない又切符には之等のプラットホームの番號が記入してあるから少しも惑ふ事は無く各プラットホームの入口に其番號や發著時間を記入した札が掛けてある、そして各プラットホームは一つの鐵骨の屋根の中にあるから、人も汽車も決して雨に濡れる虞れは無いのである

◇在鄕軍人會長 御親閲

大元帥陛下には四日午前十時宮中御車寄に出御會長の爲め上京中の帝國在鄕軍人聯合分會長六百七十一名を謁せられたり是より長各分會長は通常禮裝にて參內御車寄に列立し次で在鄕軍人會總裁伏見宮貞愛親王殿下を初め奉り東鄕大勳位、寺內帝國在鄕軍人會々長其他各元帥大將等參列するや陛下には大元帥の通常禮裝に大勳位菊花章副章御佩用內山侍從武官長以下を隨へさせられ一同最敬禮中に出御順次御親閲あり其際分會長に對し左の御沙汰を賜はり御機嫌麗しく入御あらせられたり（東京特電）

御沙汰

帝國在鄕軍人會の穩健なる發達を悅ぶ汝等益々勤勞せよ

◎在鄕軍人會の總會

四日午後一時東京築地本願寺に在鄕軍人會總會を開き伏見總裁宮殿下、北白川宮殿下、李王世子殿下台臨、會員千五百名參集、總裁宮殿下より令旨を賜ひ陸海軍兩相の訓辭、內、文、農各相の祝詞あり後一木博士、田中中將の講演あり三時閉會、是れより一同水交社にて茶菓の饗應を受け副會長福島大將の挨拶あり陛下の萬歲三唱五時散會せり（東京特電）

◆四日日比谷にて愛婦總會

皇后陛下行啓 令旨を賜ふ

愛國婦人會にては四日午前十時より日比谷公園にて皇后陛下の行啓を仰ぎ第七回總會を開催せり右に就き會長、濱尾婦人さく子以下各役員早朝より出仕諸般の準備を整へ待奉る程に陛下には千種典侍陪乘大森大夫以下供奉

◇君が代の奏樂中に會場に御著あり便殿に入らせられ總裁閑院宮載仁親王妃智惠子殿下其他各皇族妃殿下に御對面あり斯くて式場に臨御あるや濱尾會長開會を宣し了りて陛下は一同最敬禮中に大森大夫の奉進せる令旨を執らせられ玉音ほがらかに

◇御朗讀 あり是れを總裁閑院宮妃殿下に授けられ殿下は直に濱尾會長に御下附あり斯くて總裁宮妃殿下には恭しく御前に進み奉答文御朗讀あり次で理事の會務會計の報告あり會長閉會を宣し陛下には會長の御先導にて便殿に入御少憩後還啓あらせられたり（東京特電）

令旨

茲に愛國婦人會第十七回總會に臨み親しく各員を見るを悅ぶ今や歐洲の戰鬪狀態に依り救護事業の極めて重大なるを知る本會は時局に鑑み奮つて其任務を竭さん事を期せよ。

◎琿春視察團 京城見學

‖商品陳列館‖朝鮮銀行‖京城郵便局‖

午前中總督府を訪問した琿春視察團一行は午後二時から商品陳列館を參觀した興味を惹いたのは織物と陶磁器で樹木の濫伐から山野が荒廢した狀況や

▼▲植林 獎勵の說明には頗る熱心に耳を傾けて居た、約一時間の後朝鮮銀行參觀 階上應接間で茶菓の饗應を受け朝鮮及び滿洲に產した砂金を見不破秘書の案內で貴賓室や地下室の

▼▲金庫 を參觀して京城郵便局に赴いた階上で服部局長から通信機關に關する一般の說明を受け電信室、發送掛室、電話交換室などを巡覽したが間島行きの郵便物をば手に手に取つて眺めては便利な物だと囁やく

▼▲電話 室では釜山と京城で話が出來ると聞いて驚き機敏に動く交換手の手を飽かず眺めたりした午後五時郵便局を出て中央市場附近の典東館に戾つた

◎今年になつて始めての大雨

一坪七斗九升

◇農作物には好い潤ひ◇

三日の夕景から降出した雨は夜に入つて益々猛烈となり四日朝迄降り續いたが之について京城測候所長は斯う語つた

三日は朝米支那々海に七百六十粍と云ふ低氣壓が發生した爲め各地共曇天となり東の微風が吹いて居たが日沒と共に次第に空模樣が惡くなり八時十二分に至つて遂にポツリ／＼と降り出した九時前からは連續して降り初めたが右の低氣壓が發達するに從つて雨は益々勢を得十時頃から

▽本當の土砂降り になつて來た之は翌日午前三時頃迄續いたが其後は次第に弱勢となり九時四十分に至つて一先づ熄んだ總雨量は四十二粍九で日本の升目に換算すると一坪に約七斗九升の雨が降つた譯である之は今年になつて初めての雨量であるが水道の爲めには無論農作物の爲めにも亦最も好い潤ひだつたと思ふ尙此雨は京城のみならず

▽中鮮から南鮮 一帶に亙つて降つたが一番雨量の多かつたのは釜山で九十粍次ぎは江陵の五十粍弱木浦の四十五粍弱で仁川は京城と略同樣である

◆端午の節句

鯉幟の空に躍る夏の大な吹流して躍る三十六臈、菖蒲な床には甲冑武者しい武者人形男ましく遣しまし金時など、男子の剛健に大な氣象の發揚に愛兒の武運長久を祈る端午の節句は今日である、菖蒲太刀を振り翳して爽やかな小淸水の匂に酔ふ粽や柏餅すがしい菖蒲湯に身を浸めて菖蒲酒に酔ふ端午の節句は彌生の雛祭りと共に最も床しく最も目出度い國粹的年中行事の一つである、中でも揚り多いとではあるが宮中に於かせられても皇子殿下の御節句を遊ばされると承はる、芽出度い端午…床しい趣味！一般へ／＼盛んに行へ

▽尙武思想を吹込だ

鍾路小學校の端午

鍾路尋常高等小學校は五日は日曜の爲め端午の節句を特に繰上げ四日の午後から尙武思想の講話會を講堂で開いた講堂正面には一段高く壇を設らへ毛皮や毛布を敷いて其の上には某家秘藏の鎧を初め槍、太刀、軍扇なんぞ武家其の儘の面影を遺してゐる裝物や武者人形だの床飾だのを綺麗に陳べ立て講習物の粽から柏餅迄供へてある其の前には男生徒全部が人形のやうな顏をズラリと並べ來賓や職員父兄母姉なんぞが定めの席に著くと軈て校長の開會の辭に次いで外の先生が源平合戰の歷史談を面白可笑しく話して頗る感興を喚起させ其の他次から次へと多趣味な尙武的のお話やら催ふし物があつて非常な盛況を呈した

◎京日俳句會

南山本願寺に於いて

京日俳句會は既報の如く四日午後一時より南山本願寺に開催、恰かも當日は土曜日なりしとて參會者は甚だ尠なく二十名足らずなりしも不參者よりの投句もあり席上の課題などもあり作句に俳話に各自愉快に半日を過して散會せるは六時頃なりき

◆女犬公方（下）

京城一の愛犬家

‖三日でも犬になり度い
‖豫算千五百圓な食事と著物と

牛肉一斤‖晩は蒲鉾が一本づゝ‖毎朝竹の皮ごと放り出し

まあチヤンは胴が長くて肢の短い狆擬ひの支那犬である、前にも記した通り最う餘程のお婆さんではあるが焦げ茶色に波打つた毛並も却々艶々しい、あとの三匹は此まあチヤンの子や孫に當るので容貌から體格毛並までがまあチヤンそつくりである、おマキさんは此四匹の愛犬に對して朝と晝とに牛肉を百五十目宛―夫もロースの一番好い所を竹の皮ごと放り出して遣る、晩は何時でも蒲鉾一本宛と極つて居るが、時によると晝は特に洋食を奮る事もある、無論御飯なぞは振り向いても見ぬとは贅澤なもの―。

吃驚‖まあチヤン丈に是まで
親玉‖二千五百圓貢ぎ込んだ

營養が好いから四匹共まる／＼と肥え太つて、物價騰貴の風は何處を吹くと云つたやうな顏をして居る、斯した贅澤は固よりおマキさんが金に不自由せぬ故もあらうが假令金はあつても一通りや二通りの犬好きでは迚も出來る藝當でない、何でもおマキさんは是迄まあチヤン丈に二千五百圓許り貢ぎ込んだ相なが成程此の調子なら尤もだ、然し之位でビックリするには未だ／＼早い、あとにはモット大なビックリの親玉が控へて居る

犬の著物‖紹物許りが簞笥に三棹‖尤も千萬なお三の述懷

おマキさんの愛犬振りを一層極端に發揮して居るのは犬に著物を著せる事だ、單に之丈ならば驚ろくにも當らぬが其著物たるや却々贅澤を極めたもので縮緬か若しくは羽二重、に非ずんば緞子か甲斐絹木綿ものなぞは憚り乍ら一枚もない、然かも夫が簞笥に三棹許りあると云ふに至つては驚き桃の木山椒の木、物價の高い此節下手な腰辨の細君なぞは其足許にも寄り付けぬ事、此家のお三が『たとへ三日でも好いから犬になり度い』と沁々述懷したと云ふのも滿更嘘ではあるまい、悟慶調子だから無論晝は座蒲團の三枚重ね夜はおマキさんが抱いて寢る

◇愛犬マル君

五代‖佛說に迷うて犬公方
將軍‖お牧さんは何に迷うた

要するにおマキさんの愛犬振りは狂熱的である、全然『犬』とか『畜生』とか云ふ觀念を放れて所謂吾兒も及ばぬ程渾身の愛情を犬にブチ込で居る、此位熱心な愛犬家は京城にも恐らく二人とあるまい、おマキさんは實に京城の犬公方である、德川五代將軍は晩年佛說に迷うて犬公方の名を博した相だが京城の犬公方は果して何に迷うた？。（終り）

京日お伽講演會

いよ／＼第一回を本日午後一時から日の出小學校で開きますから皆さん誘ひ合つて成丈け大勢お出で下さい

ホコシン

▲蒙宮內省御買上之榮 ▲內務省衞生試驗所外五博士證明 ▲發明品展覽會有功賞並謝狀受領 ▲專賣特許石コシ式 ▲各醸造用並に飲料水用

此濾過器は濁水を淸水と爲し黴菌を除き良水を諸賢に給す百病の根原を斷ち衞生上欠く可からざる資器なり新來品を凌駕し代價も四分の一に過ぎず諸々御注文を乞ふ

東京本郷元町 日本除菌濾過器製造所（電話小石川二六四二番 振替東京三七二六一番）

何新聞で見たと書て申込めば說明書進呈す

釜山商店案內

肥料 釜山驛前 マルカク商店 電話長八三 振替三九二番

スマート商會

洋酒 罐詰 糖粉 卸商（月刊發行） 釜山 あづまや商店 電話 振替京城

雜貨問屋 釜山大广町 明治屋本店

酒精、壺入瓶詰 燒酎 西貢米 碎米 大豆 大豆粕 砂糖 麥粉 食料雜貨 釜山埋立新町 福榮商會支部 電話長一〇八番

朝鮮特產 藥用人參配合 蔘精生葡萄酒 ニンジンキブドウシユ

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店 電話二〇七 振替京城三二〇

時分柄申分なき氣候と相成申候折柄皆々樣にも御變りもあらせられず何よりの事ご目出度存上候 久敷御引立を蒙り申候八景園暫く休業致居り候處此度私儀皆々樣の御引立を力草に引繼開業致事ご相成申候當園は晝夜を分たずそよ吹く涼風こながめあかぬ漢江の流れ殊に漢江に浮む月夜の景色は又一層の風情こ皆々樣の御讚辭を賜り居り候に付ては萬端御意に叶ふべくすべてを御手輕にお遊びを賜はるべく心懸け申候に付何卒倍舊御引立を只管奉願上候

舊龍山元町三丁目（漢江川岸） 八景園 諸岡福三郎

追て氣節柄漢江の舟遊又一層の興味に候間是又御申付御用御受申すべく候

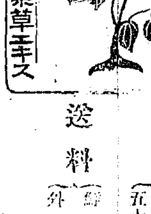
蠅退治 ハイのウジとタマゴ（ST式固形石油乳劑）を殺し根を絕つて蠅を枯らす根本的蠅の驅除劑

定價 二拾八錢 壹打

總發賣元 熊平支店

大阪賣元 京城日報代理部

淫羊藿エキス



人參に優る滋養強壯劑 通稱 三枝九葉草エキス

定價 廿丸入金壹圓 卅五丸入金壹圓五十錢 四十九入金壹圓九十錢 五十九入金貳圓三十錢 送料（鮮內四錢）外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那、朝鮮兩國人に愛用せられしが產出一地方に限られ而已人參の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人參を凌駕すとて醫家の重用する所なり何なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人參と同じく明白ならざるも本劑が殊に効能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり

主効 神經衰弱症 貧血症 骨膜病 肝臟病 胃腸病 腺病 生殖器病 リウマチス

以上に依り適應症左の如し
(1)精力を盛んにし精神を爽かにし體力を増し元氣を良くす
(2)思考判斷及記憶力の減耗を除す
(3)讀書計算の疲勞を除す
(4)安眠し赤眼の疲れを癒す
(5)筋骨の疼痛を退け又疲勞を恢復す
(6)消化及便通を良くす
(7)產前產後及病後の衰弱に良し

全國一手販賣 朝鮮京城府太平通一丁目 合資會社京城日報代理部

花吹雪

大阪 中谷青霞

（二十一）

『この程よりの病痾は皆某ゆゑとの物語、定ならば唐土どの、主税之助必ず忘却は致すまじい心底、身に餘つて嬉しうも存ずる、なれどもその叔父御とやらに逢はるゝまでの心の誓ひ、今破らるゝは本意ない業、素性正しい武士の胤と申あつて、幸ひまだ身も汚されぬは弓矢神の冥助、八幡金打、某が心の妻と思ひ定め、やがて叔父御と面會を期して、目出度う本意を遂ぐる心。』と主税之助は早何事も措き終つた

と見ぬ情話はいたく進んだ氣色。『主税之助様、お嬉しうござります。』と唐土は伏目勝ちに赤う頬照つた面を擡げて、莞爾と微笑むだ。女の童は何時の間にかこの座敷には姿もない。『必ず本意を遂ぐるまで、松の操を破られぬやう、雨にも風にも心おしやれ、又逢ふまでの記念には定紋したるこの笄、唐土どの、お身が守りに參らする、さゝ納めてお與りやれ。』と主税之助は拔取つた脇差の笄、懐ろ紙の白きに乘せて差し出す。唐土は押頂いて、『忝うムりまする、賤しい妾が心の願ひ、到底も叶はぬ片戀と思ひ諦めて居りましたを、念なら叶へて下されたた上、命にも替へ難い記念のもの、給はらうとは主税之助様、夢のやうで厶りまする。心の誓ひ一端からと思込んではいかで操を破られませう、自然まさかの事にも及んでは記念の笄、お身様の手にかゝつて死する心の一思ひ、美事冥途に一蓮托生の蓮の臺、京様の丸絹燈の淡き光りに透して御廻向を待ちまする心。』じつと見送り、再び押頂いて眩と懐ろに納める。『さらば夜の更けぬうち某はお暇申さう、構へて心の裡悟られぬやう、靜かに身の加養おしやれ。』云ひ乍ら主税之助は立上る。

一間の襖そつとあけて女の童は雪洞差出す、唐土目ら執つて。『お身様にもよう氣をおつけなされませ、物の本も餘りに過ぎては身のお毒、よい程が藥でござりませう、ならばお見送り……』と先に立つ。女の童は早緣の障子をあける、主税之助庭に下り立ち。『女ばかりの家の裡、見ぬ透けるも何うあらう、最う可うござる。』と植ゑ込みを關草履の音しと〳〵と行きかゝる、唐土も續いて降立ち、雪洞片手に差出して。『いゑお足元が暗うござりませうに柴折戸までお見送り、はや雨も霽つた様子、氣をつけてお歩ひあそばせ。』云ひ乍ら十歩の木立、行き切つて表の柴折戸さつと向うに開くと、二三人の黒き人影。『そりやこそ、待つた、其處な御人。』と圖太い聲、唐土は眩と透して見て。『やゝ。』とばかり、當座の機轉、雪洞つと吹き消した、主税之助も刀の柄に手をかけ行途を睨んで突立つた。

日報歌壇

高橋 葉子

紅梅咲きぬ

少女等のなほものこころかはづく〳〵に見し紅梅に心はもゆ

紅梅さきぬ紅梅さきぬと日も惚れて心ばいつか少女となる

一本の紅梅の盛り靭にげにかしきの水なわれは流すも

人見知り揺を見わけて泣く吾子を抱かむせしてこゝろ淋しも

母らしくしみ〴〵吾兒を抱はやさ抱けどあはれ心は暗く

母らしき心も未だ持ち得ぬにあはれや吾兒の日に肥りゆく

背中く吾兒寢かさむさ夾の室に入れば室内にほふ水仙

吾兒さこもる室の障子のあたゝかく冷ねしアンカかかたよせにけり

添乳すとたまく〳〵まろぶ室内に匂ひたいよふ水仙の花

人も來ぬ心さきか微れ髪梳くさはなしに日が終へにけり

日報俳壇

■鴎鳴吟社詠草（新義州）

凧の子を呼ぶ夕聲の降り哉 非水

龍岩浦

立春の汐港へたる錨地かな 同

探梅の暮れて歸りし裏戸哉 同

不忘碑の苔避り連翹花 同

遠足の顔を洗ふや春の川 林浩

連翹を生けし書房の帳場哉 同

土割りて逞しき色や路の臺 流水

興に入る湖山の凧や凧 同

柱聯に春立つ支那の街路哉 滴一

連翹や小家に渡す丸木橋 同

凧揚場の立木に募る春風哉 雨

連翹に檀徒持成す廣間哉 同

安東縣

紅唐紙の聯に春立つ戸毎哉 禪獣

探梅や歌をよくする坊の妻 同

飼鴨の餌水が温む異哉 南游

山寺の塔明るさよ凧 同

海が照る別莊山や凧 同

凧に暮れて戻る土橋や三日の月 水淡

ネット張りて廣、コートや春の風 同

硝子戸に搖らぐ連翹の夕日哉 同

蟻

—五の日十の日會—

○ 芹郎

鯉幟たゝんで大家族のひとりが座る

幟眠に前に下りてくる抱へ込むなり 浮碧楼

○ 虎耳

幟みな垂れてあり鴎運れ浮く

○ 目池

通り抜けざま幟片荷が重たく

○ 鳥堂

通りすがり幟立ち包さげて寄りぬ

□春燈吟□ —北の廿三—

花盛

土手草の靑さはありぬ花曇 伹人

松の上に花曇る海の見えけり 水子

大船を目がけて漕ぐや花曇 笛木

寺の茂に枝差す松や花曇 迦南

炭消ゆ後る茶の間淋しや花曇 白風

花曇風車動かず大いなる 征貴子

薊

強風に芝に遠く花持つ薊 伹人

松林を陽深く踏むや花薊 廼黄

蜥蜴の尾切れて動ける薊哉 同

□春雜吟

砂風のおさまりし春や春の虹 青瓦

蛙月夜池舟いたく捲れ居りぬ

釣堀漏りに井桁溢れ居り菊根分

廻日窓梢影なかく落ちぬなり

□瓜

東風人に河船の動き後れたり

船の水の甘さ殺める潮の果

清水夕べ色好し來月に浮く

遲き日や小屋火中に隔れて燗鍋ある

□春を送る 大邱 貴丘

春を送る親しみ俺までの日合力なり

端書にかいた出端日に責められ春行く

思ふさま慈ありし春の別れなり

虫捻る指先の技々に春行く

曝生處くるいつものおんなじ野でなり

□春雲吟 青丘

坑口に雨の薊や工夫小舎 水仙

蟻の集る薊にし丘の花薊 紫光

山羊繋ぐ野の一木や薊かな 橙南子

新刊紹介（到著順）

▲朝鮮及滿洲（五月號）北支那より南支那へ（釋尾旭邦）朝鮮室より（同）問題となりし李王職（同）國家の興亡と邦人の植民思想（下村海南民政長官）露國の現狀を論じて國民に警告（高柳の將）露國の將來（片山早大教授）地理學上より見たる滿鐵（木戸滿鐵地質課長）滿洲開發と邦人農業思想改善（矢木大連商業校長）及び滿洲内地人經濟の觀察（軍司令部）及び鐵道貨界の消息の外に朝鮮鐵道前途好望（中野京城大邱炭坑）酒と女の上より見た城の名士諸君（ヒマラヤ山人）南鮮視察旅行日京記（佐野耕堂）女子大學出身の人々（一寸法師）京城に於ける粋の女、七草生、蟹側の壱き注文取小僧）石僧の四個月（相岡の男）外國聞[illegible]三十錢、京城旭町二丁目[illegible]

▲出兵論（九博士の所論）建部、高橋、添田、中村、戸水、寺尾、松波、志田、仁井の九博士の出兵論を大谷誠夫氏が取纏めて如何に[illegible]したるものなり（非賣品）

▲朝鮮鑛業會誌（一の五）[illegible]山相及（渡邊博士）朝鮮の鐵礦床成因と分布―保科理學士）朝鮮の炭礦業と炭田[illegible]（鐵床）班（鈴木博士）石炭石石膏及螢石の用途（片山技師）其他ニッケルの研究、滿洲鐵業の鐵鑛業、後貝加爾州の鑛業アラマ[illegible]鐵外鑛業に關する不益な記事數十項（四十五、京城南山町二の二七朝鮮鑛業會）

▲鮮滿之工業（五月號）石炭問題に關して三度滿鐵に反省を促す（社說）眞野大河内、西川各博士、[illegible]工務課長、新田、下田技師、技師其他の工業に關する記事二十五錢（京城旭町二の七一鮮滿工業社）

讀者の領分

▲市内の某女學校の寄宿舍の先生は隨分イ公みたそうである、だに他方よりきて居る人は先生のお氣に入りさうか現今降盛に起きつゝある學校のために御注意申す（法學生）▲京城 型 様わざ〳〵御歌を下さいまして有難うございました、小生始め三回迄表掲して居りました、あなたは京城においでではありませんか、あなたの御歌は短歌や京日にて度々拜見し感心して居ます、その短歌會には小生も歸宅を送りましようネ

乳牛 御用 岡野牧場

藥 衛生 飼 炭 ホテル 京城 芳山町 電話一〇六九番

御邸近（交河、村鮮花）

▲近い小學校の生徒が通りに鼻た悶を叫ふのは[illegible]して居ります[illegible]先生様少し歴史か地理を加味した俳句の題の様なものを頒ひます私は二十年前に習つて居なほ日から有効岡田公 伊[illegible]して居ります兒兒には見る[illegible]ふて藤川得りなき罪多悪所ら[illegible]す（茶目稲生）▲京府町李王殿 [illegible]

▲原色版▼

金剛山 繪葉書

高木背水畫伯筆 勝探（一組六枚）定價三十六錢 郵稅二錢

朝鮮名勝繪葉書

（一組三枚）定價十八錢 郵稅二錢

金剛山の分は萬物相の靈、玉龍淵、及び元山港の朝、温井里の秋、赤壁江の朝、海金剛、三仙岩、朝鮮名勝の分は大同江の夕、水原、白堊門を以て壽ふ大筆致の優を調し、印刷は歐米のものに比し決して遜色なき鮮麗なる紙質を以て真の色も以て是れ得がたき良品なり。

京城日報社代理部

京城太平通一丁目 振替京城三〇電話（本局）一八番

月やく

とまり又は不順にしてなんとなく腹工合悪くして人知れず心配の方は一度用ひて御覧あれ劾かぬ（イカサマ）藥に迷はず私方へ御注文をお待ち致します永年經驗よる妙藥致留　思議に下る　大阪東區 [illegible]町 [illegible]前 いづみ堂

病んり

日本一

專賣特許 自宅器械療法

博士證明 生殖器障害も同器で治る

他の療法で病根の深き淋病に對する根治療法に二十年の經驗を有する[illegible]完全なる機能障害も全治 器械療法ハカ無代進呈 キ申込次第説明書

東京京橋本村木町三 新療法研究所
大阪市北區北森町三 新療法研究所
京都烏丸通三ノ棚下ル 新療法研究所
京城本町二丁目七一 新療法研究所

京城、釜山等各地に偽物有御注意

千代田號印舖

京城本町 電話七八八番 九七八番

百圓進呈

りん病 ばい毒

請合 薬料金一円三十五錢 薬料金二円

淋病薬王藥は治癒劑とし梅毒藥王藥は驅梅内服藥とし醫藥學上最有効と確定し帝國醫科大學病院等にて當場配劑せる高貴藥なるを保証す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料百圓進呈

あらゆる治療を試すも効なき患者兎に角一度来談あれ

にせ物 東京其他各地ににせドラッグあり

大阪有田 製を取り 買を乞

にせ物と奸商

通貨でも偽造する悪奸あるの中だから止むを得ざる訳なれど我商會同様の看板を掲げて恰も我商會と同一の物の如く好商が東京初め各地に續出し無効の薬劑を販賣せり我商會は大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分盲目千人の世の中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製劑御買求の方は

大阪有田ドラッグ商會

知 南大門外 大阪ドラッグ商會

京城 臺町三丁目 大阪ドラッグ商會

大阪 三休橋 大阪 京城南大門外停車場通

ドラッグ商會

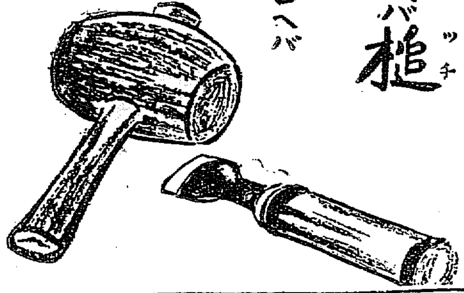
鑿ト言ヘバ槌

眼病ト言ヘバ

ロート

論より證據

直ぐお試しあれ



ロート目薬と他の目藥と異る特色

（一）ロート目藥は眼科を以て有名なる東京眼科病院長獨國醫學博士井上豊太郎先生の處方に係り大前藥學士の鑑査を經たれば患者は安心して用ゐることを得

（二）病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には（下圖の如き）消毒したる布を添ふ

點眼器

登録商標

井上博士ノ ロート目藥

（三）點眼器の鋒の尖りたるは目に危險なり、ロートの點眼器は鋒を丸くしたる故危險の恐なし

（四）レマズ痛まず故に小兒に用ふるに便利也

▲藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ

久我侯爵閣下讃歌

夏山の木立見るごと涼しけれ目には霞も雲もかゝらで

比較（くらべる）

ハ品質の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べ玉へ

効能 一切の眼病に用ひて他の目藥で及ばぬ効能あり ◉但しソコヒには効なし

定價 徳用五十錢 中瓶二十錢 小瓶十錢

ロート本舗 東京市日本橋區本銀町三 山田安民藥房

ロート發賣元 大阪市東區南久寶寺町二 山田安民藥房

◉全國各藥店に請買す

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

振替貯金口座京城三三一番 電話六〇一〇番

支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

出張所

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

内科 胃腸病

診察夜九時迄

石川醫院

京城黄金町一丁目 電話一三二七九番

朝鮮會話精通

西村眞太郎著

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 私立成商業學校講師

袖珍總クロース頒美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢

一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ

一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす

一、本書の内容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば

イ、單語の數は實に八千以上なり

ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす

ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百

ニ、譯方正確にして且つ嶄新

一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 京城本町一丁目 大阪屋號

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗

サクラ正宗

京城明治町二丁目

山邑京城支店

電話 四八四九 一四五四 番番

振替京城五七番

産科 婦人科

京城蓬町 電話一二〇一番

醫學士 亮宮二吉

二宮醫院

痔疾專門

入院隨意

京城明治町二丁目本町より入る中程（電話一二〇二番）

京城 久枝肛門病院

日本郵船出帆

仁川出帆 大連行 天津行

相模丸 五月二十日
三河丸 五月十日
高砂丸 五月三十日 正午出帆

仁川海岸町十一番 電話 堀回漕部

尼崎汽船出帆

仁川出帆 下ノ關、大阪行 釜山、木浦、

神代丸 五月十二日後四時
秀吉丸 五月八日後四時
君代丸 五月六日後四時
大有丸 [illegible] 日後四時出帆

仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

青島直行 共同丸 五月九日午後八時 五月十日午前[illegible]

[illegible]

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三〇）

仁川代理店 野口商會

元山代理店 田口回漕部

南大門驛前（電話二七六〇八二） 京城取次店 河村支店

朝鮮郵船出帆

[illegible]

○敦賀行 平壤丸 五月九日 元山發 清津發城津 元山經由
○浦汐行 平安丸 五月十四日 釜山發 五月十六日 元山發
○雄基行 摩耶山丸 五月十五日 釜山發 五月十八日 元山發
忠清丸 五月十八日 元山發
○元山雄基線 鏡城丸 五月六日 元山發
○大阪行 山陽丸 五月十日 元山發
○關門行 摩耶山丸 五月六日 元山發
咸鏡丸 五月九日 元山發 五月十二日 釜山發
○金剛山遊覽便 [illegible] 丸 月 日 元山發
○鬱陵島行 盈德丸 五月八日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸、慶陽丸 毎日 釜山、浦項發
○濟州島行 昌平丸 五月十一日 釜山發
○濟州島行 木浦發
○東廻廣興丸 西廻公州丸 五月十一日 五月九日 木浦發
○釜山麗水線 釜山丸、巨濟丸、統營丸 毎日
○木浦麗水線 順天丸 五月八日 木浦發
○多島海行 公州丸 五月十四日 木浦發
○木浦行 晋州丸 五月九日 仁川發
○海州行 錦江丸、南陽丸 毎日一回 仁川海州發
○鎭南浦行 令州丸 五月八日 仁川發
○青島行 江原丸 五月八日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 五月十日 鎭南浦發

◎朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ

本社 京城南大門通（電話一九五二）

釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 中野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店（電話長二〇七）

（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）